

東京外国語大学百周年記念研究振興基金プロジェクト

『グローバル言語文化情報アーカイブ』

報告書

2001年3月

東京外国語大学
語学研究所

まえがき

東京外国語大学語学研究所では平成12年度のプロジェクトとして「グローバル言語文化情報アーカイブ」の作成という課題を掲げ、本学で専攻語として教育されている言語を手始めに本学で研究されているその他の言語を含む世界の言語を対象に言語自体とその使用地域に関する基礎的情報を集め、ハンドブック的に手軽に参照できるアーカイブの作成を計画した。幸い、このプロジェクトは本学百周年記念教育研究振興基金の補助を受け、実施に移すことが可能となった。今回はその第一段階として11言語のデータをまとめた報告書を刊行する次第である。収録されているデータには言語名、系統、話者人口、使用地域、言語の基本構造および特徴など言語に関する概説的な事項のほか、学外からの照会の多いその言語の辞書・学習書および教育機関に関する情報が含まれているのが特色である。記述内容は最新の学問的水準を維持しながら、できるだけ簡明にその言語の全体像を把握できるよう配慮した。

今後は、さらに言語数を増やして内容を充実させるとともに、画像や音声のデータ等も加えてインターネットを通じ研究者、学生、社会人を問わず大学の内外で広く利用に供することができるよう目指している。今後このアーカイブを充実発展させるため、御意見や御批判をいただければ幸いである。

平成13年 3 月

語学研究所長

寺崎 英樹

目 次

まえがき（寺崎 英樹）

プロジェクトの目的とその意義（ロバート・ラトクリフ, 降幡 正志） 1

『グローバル言語文化情報アーカイブ』作成作業と作成後について
（降幡正志） 3

アラビア語（ロバート・ラトクリフ） 11

インドネシア語（降幡 正志） 15

ウクライナ語（中澤 英彦） 25

ウルドゥー語（萩田 博） 31

オランダ語（降幡 正志） 39

カンボジア語（上田 広美） 45

スペイン語（寺崎 英樹） 51

チェコ語（金指 久美子） 61

ドイツ語（在間 進） 69

ビルマ語（奥平 龍二） 77

ロシア語（中澤 英彦） 87

プロジェクトの目的とその意義

ロバート・ラトクリフ
降幡 正志

1. プロジェクトの目的

本プロジェクトの目的は、本学で研究および教育を行なっている言語を中心とした様々な言語について、インターネットを通じて言語それ自体やその背景にある文化などの情報を広く一般に公開し、併せて各言語の教材や辞書、あるいは学習機関など語学学習に有益な情報を提供することにある。

本学における言語研究・語学教育の成果は、学内のみにとどまらず一般に向け広く公開されるべきである。これまでに語学研究所の活動の成果として『世界の辞書』（研究社）、『世界の言語ガイドブック』（三省堂）が刊行されているが、現時点においてインターネットはもはや軽視できない情報媒体となっており、今後その重要性はますます高まっていくであろう。

本学は26の専攻語学を有し、この他に研究・教育のなされている言語も数多い。多岐にわたる言語に関し、言語それ自体あるいは言語・語学学習に関する情報をまとめて発信することは、各言語についての情報を求める者に対してはもとより、複数の言語に関する情報を求める場合にも非常に有用となろう。こうした情報発信は、多数の言語の長年にわたる研究・教育の実績を持つ本学だからこそ可能なのである。

2. インターネットを通じて情報を提供する意義

すでに述べたように、情報媒体としてインターネットはすでに重要なものとなっている。本プロジェクトはインターネット上に公開することを目的としているわけだが、その際に情報をインターネット上で提供することの意義を考えてみたい。

- 1) 出版物と比べた場合、迅速な情報の提供が可能であり、かつ状況等が変化したときに情報の内容を容易に追加・更新することができる。従って、常に新しい情報を提供することが可能になる。ただしこの場合、情報の追加・更新などを行なう管理体制を整備しておく必要がある。
- 2) 逆に情報を受ける側にとっては、インターネット環境が手近にあれば、その場で様々な情報を検索することが可能である。必要な情報を探し求めることもあれば、リンクをたどって関連する情報をさらに追求することもできる。関連する情報に対して参照しやすいリンクを設けることにより、情報の発信源であると共に情報の中

継地点の役割を果たすことにもなり、より幅広いニーズに応じた情報提供を行なうことができる。

3) 情報交換のネットワークが拡大し、発信した情報に対する幅広くかつ迅速な反応を得ることが期待できる。新しい情報を迅速に得ることができれば、発信する情報の追加・更新に大いに役立ち、なおかつ本学における研究・教育にもそれを反映させることができる。

4) 上記の情報交換のネットワーク拡大に伴い、数多くの言語に関する研究・教育を行なっているという本学の特徴をより幅広くアピールすることができる。

上に見てきたように、インターネット上で情報を公開することは、ただ単に本学の研究・教育活動の成果を提供するのみにとどまらず、双方向の情報交換を迅速かつ容易に行うことができ、しかも情報交換のネットワークが拡大することが期待できる。このことは、本学の特徴を大いにアピールし、しかも本学において研究・教育を行なっていく上で寄与するところが大きいと言えよう。

『グローバル言語文化情報アーカイブ』作成作業と作成後について

降幡 正志

0. はじめに

本プロジェクトの最大の目的は、様々な言語の情報をインターネット上で公開することにある。インターネット上（ホームページ）で情報を公開するためには、掲載する内容、ホームページ作成時の技術的な方法、および作成後の情報更新・追加などを考慮に入れなければならない。ここでは上記の点について、プロジェクトの基本方針および掲載内容、技術的な方法のうち特に言語に関する記述に大きく関わる文字の問題、およびホームページ作成作業とその後の展開について述べる。

1. 基本方針

執筆依頼をする際に提示した基本方針は、主として以下の通りである。

- 成果はインターネット（映像、音声も掲載可）に載せ、報告書（印刷物）も出す。
- 総括担当者がまずフォーマットとひな形を作成し、各言語の執筆担当者はそれにならって各言語の原稿を作成する。
- 語学研究所編『世界の言語ガイドブック』（三省堂刊）を参考にし、これの簡略化・改訂を念頭に置いて作成する。
- 言語の分布、話者人口などの基礎的データとともに外部からの問い合わせが多い言語の学習に関する情報（入門書、辞書、教育機関等）に重点を置く。言語の構造（文法等）についての説明は簡略でよい。

2. 掲載形式および執筆内容の決定

上記の基本方針に基づき、インターネット上に掲載する内容および形式について語学研究所所長と総括担当者との間で検討した。文章の形式で各言語について説明する「概説」のページを設け、また学習書や辞書、学習機関などの言語学習に関する情報に重点を置くという基本方針から、これらを独立した一覧表形式のページとして扱うこととした。さらに言語に関する基礎的データも参照しやすいよう「言語情報データ」という一覧表形式で掲載することとした。

「概説」ページおよび「言語情報データ」ページについては内容の重複があっても差し支えないこととし、執筆内容をおおよそ以下のように定めた。

- 〔系統〕〔使用地域〕〔話者人口〕〔言語をめぐる歴史〕などの項目を立て、文章の形式で記載する。ただし、各項目の文章はあまりあまり長くならないようにする。
- 言語の構造に関する記述は別プロジェクトで行なうため、ここでは重点を置かず簡略な説明にとどめておく。
- 記載内容の目安はおおよそ以下の通り。
 - 01. 言語名（日本語での名称、当該言語での名称、英語での名称）
 - 02. 言語の基本構造（母音・子音、構文／語順、語構成法）
 - 03. 使用文字（正書法）
 - 04. 話者人口（母語としての話者）
 - 05. 使用地域
 - 05b. 公用語として用いる国
 - 05c. 教育言語として用いる国
 - 05d. 少数民族の言語として使われている国
 - 06. 系統
 - 07. 言語をめぐる歴史（規範語・国家語・公用語の成立及び変遷）
 - 08. 言語に関する状況（方言、地方語、その他言語にまつわる文化的背景など）

3. ひな形（サンプルページ）

各執筆者が参照できるよう総括担当者がひな形を作るという基本方針により、降幡がまずインドネシア語についてサンプルを作成することになった。

インターネット上に情報を掲載することが本プロジェクトの目的である。そこで、ホームページ上で実際に表示されるおおよそのイメージをつかむためもあり、執筆に関する情報を掲示する目的も兼ねてサンプルを本学学内からのみ閲覧可能なページに掲載することにした。サンプルページのアドレスは以下の通りである。

<http://maria.fs.tufs.ac.jp/~furihata/goken/>

なお、これはあくまでも試験的なものであり、上記のアドレスに掲載したサンプルが確定的な形式ではないことを付け加えておく。

上記アドレスに掲載したサンプルのイメージを以下に掲げる。

インドネシア語 (bahasa Indonesia, 英: Indonesian)

[概説情報データー一覧](#) / [辞書・学習書一覧](#) / [学習機関一覧](#) / [写真のページ](#)

[トップに戻る](#)

概 説

- [1. 系統](#)
- [2. 使用地域](#)
- [3. 話者人口](#)
- [4. 言語をめぐる歴史](#)
- [5. 言語に関する状況](#)
- [6. 文字と音声](#)
- [7. 言語の構造と特徴](#)



※クリックで拡大

1. 系統

オーストロネシア語族・西部オーストロネシア語派(西部語派/ヘスベロネシア語派)・西部インドネシア語群。

2. 使用地域

インドネシア共和国。

3. 話者人口

Summer Institute of Linguistics *Ethnologue* (13th ed.) は、母語としてのインドネシア語話者は17,000,000人から30,000,000人、第二言語としてのインドネシア語話者は140,000,000人以上という数字を挙げている。

インドネシア語の話者人口を特定するのは非常に困難である。これは、インドネシア語もしくは類似のムラユ語の変種の母語話者が2億人以上の人口を抱えるインドネシアのおよそ1割であり、他言語を母語とする残り9割の人々が基本的にインドネシア語を国内の共通語として用いているという複雑な言語事情によるためである。

4. 言語をめぐる歴史

古来よりインドネシア地域ではムラユ語が交易用語として用いられ、広く行き渡っていた。このムラユ語がインドネシア語の起源である。

20世紀初頭以来、当時の蘭領東インドで民族主義運動が活発化し、1928年の「第2回インドネシア青年会議」の場において『青年の誓い』が採択・承認された。その一つに「統一言語インドネシア語を選舉する」という文言があり、これが「インドネシア語」という名称が公式に用いられるようになった出発点である。

第二次世界大戦後、インドネシア共和国として独立し「インドネシア語」が国語となった。『多様性の統一』をモットーに掲げるインドネシアでは、各地

【 図 1 : 「概説」 ページ 】

インドネシア語 (bahasa Indonesia, 英:Indonesian)

[概説ページ](#) / [辞書・学習書一覧](#) / [学習機関一覧](#) / [写真のページ](#)

[トップに戻る](#)

言語情報データ

系統	オーストロネシア語族西部インドネシア語語
主な使用地域	インドネシア
話者人口	母語話者:17,000,000 ~ 30,000,000 (第二言語の話者として140,000,000を超える話者人口を持つ) ※ Summer Institute of Linguistics <i>Ethnologue</i> (13th ed.) による
公用語として用いる国	インドネシア共和国
教育言語として用いる国	インドネシア共和国
使用文字	ラテン文字
主な使用地域における他の言語	ジャワ語, スンダ語, マドゥラ語, バリ語, ミナンカバウ語, その他

【 図2:「言語情報データ」ページ 】

インドネシア語 (bahasa Indonesia, 英:Indonesian)

[概説ページ](#) / [言語情報データ一覧](#) / [学習機関一覧](#) / [写真のページ](#)

[トップに戻る](#)

辞書・学習書一覧

◎辞書

書名	著者	出版社	出版年
『新聞を読むためのインドネシア語時事用語辞典』	服部英樹, 柏谷俊樹編	大学書林	1998
『標準インドネシア・日本語辞典』	谷口五郎編	日本インドネシア協会	1982
『標準日本・インドネシア語辞典』	谷口五郎編	谷口研究所	1985
『インドネシア語基本語用例辞典』	森村蓉編著	大学書林	1993
『インドネシア語略語辞典』	栃木県インドネシア友好の会編	栃木県インドネシア友好の会	1992
『現代インドネシア語辞典』	末永晃, 関伊統, トルゼノAS編	大学書林	1977
『現代日本語―インドネシア語辞典』	末永晃編	大学書林	1984
『インドネシア語辞典』	末永晃著	大学書林	1991

◎学習書

書名	著者	出版社	出版年	レベル
『キーワードで覚える！やさしいインドネシア会話』	降幡正志	ユニコム	1998	入門・初級
『やさしいインドネシア語の決まり文句』	舟田京子著	南雲堂	1989	入門・初級
『インドネシア語の入門』	牛江清名著	白水社	1975	初級・中級
『インドネシア語を書こう』	左藤正範著	大学書林	1989	初級・中級
『バタオネにおまかせ バタオネのインドネシア語講座』	ドミニクス・バタオネ 近藤由美著	めいこ	1989	入門・初級

【 図3:「辞書・学習書一覧」ページ 】

インドネシア語 (bahasa Indonesia, 英: Indonesian)

[概説ページ](#) / [言語情報データ一覧](#) / [辞書・学習書一覧](#) / [写真のページ](#)

[トップに戻る](#)

学習機関一覧

◎専攻語学課程を設置している大学

大学名	郵便番号	住所	代表電話番号
東京外国語大学	180-8534	東京都府中市朝日町3-11-1	042-330-5111
大阪外国語大学	562-8558	大阪府箕面市薬生間谷東8-1-1	0727-30-5111
天理大学	632-8510	奈良県天理市杣之内町1050	0743-63-1515
京都産業大学	600-8555	京都市北区上賀茂本山	075-705-1437

◎専攻語学課程を設置している専門学校

専門学校名	郵便番号	住所	代表電話番号
アジア・アフリカ語学院	181-0004	東京都三鷹市新川5-14-16	0422-48-5515
京都外国語専門学校	606-8351	京都市左京区岡崎徳成町5	075-752-2300

【 図4：「学習機関一覧」ページ 】

基本方針に「映像、音声も掲載可」とある。このため降幡が現地にて撮影した写真をスキャナで画像データに変換し、ページに追加した。

ゴア・ガジャ(バリ島) - その1

◎バリ島の“ゴア・ガジャ”(Goa Gajah)は有名な観光地の一つ。



★入口周囲にある石像の足元を見ると

【 図5 : 「写真」 ページサンプル (1) 】

ゴア・ガジャ(バリ島) - その2



上は DILARANG DUDUK (インドネシア語:「座るべからず」)
その下に書いてあるのはバリ文字

前のページに戻る
写真のページに戻る

【 図6 : 「写真」 ページサンプル (2) 】

4. ホームページ作成に向けて ー文字の問題ー

本報告書執筆段階で、11 言語について原稿が提出された。書式をある程度一定に揃えたこれらの原稿は巻末に付してある。

提出形式は、以後のホームページ作成を視野に入れテキストファイルを原則とした。しかし文字の問題もあり、結局は印字された原稿も必要となってきた。

文書をワープロで作成しプリントアウトする場合、フォントを組み込むことにより、ある程度まで対応することができる。例えばこれまでに提出された原稿の多くは IPA（国際音声字母）を用いているが、これらは IPA フォントを組み込むことにより、印刷原稿には問題なく表示することができた。しかし「カンボジア語」の原稿にはクメール文字が入っているが、現在の編集環境にはクメール文字のフォントが導入されていないため、執筆者に印刷まで依頼している。今後、日本語・ラテン文字以外の固有の文字を用いている多くの言語で同様のことが起こるであろう。

ホームページ上での文字の表示は、さらに制限が多くなる。html 上で文字セットを「日本語」に指定した場合、日本語と半角英数文字以外は文字列としてはうまく表示されない。本プロジェクトのように様々な言語の情報をインターネット上に掲載する際に、文字の表示は非常に大きな問題である。

この問題に対処するためにいくつかの方法を考えたが、日本語および半角英数文字以外の文字に関しては、画像データにして表示させるのが現時点では最良の方法と思われる。この方法は html ファイル以外に画像データを用意しなければならないが、また他の文字列と書体や文字サイズが合わなくなることもあるが、ブラウザを問わずほぼ問題なく表示することができる。本プロジェクトは特定の閲覧者を想定するのではなく、より幅広く閲覧してもらうことが重要なので、閲覧環境を問わないページ作りが要求される。特定のブラウザを指定したり、新しいフォントを入手してインストールさせるという方法も考えられるが、ページを見るために閲覧者に負担をかけさせるのは本プロジェクトの目的にはそぐわないものであろう。

5. ホームページ作成作業と作成後について

出版物とは異なり、ホームページに掲載する内容の変更や情報の追加は容易であるといえる。むしろ、状況の変化や新しい情報に応じて内容を更新していく必要があり、そのためには更新作業がしやすいようにホームページを作成するべきであると思われる。作成作業に際しては、この点に特に留意している。

すでに提出された各言語の原稿は、内容や形式が必ずしも一定しているわけではないが、形式がある程度揃っている方が作成作業も作成後のメンテナンスも平易であるので、それぞれに独自の内容を尊重しつつ、かつ形式を揃えていく方向で作成作業を

行なう。また、作成後のメンテナンス方法についても予め考えておく必要があろう。

ホームページの長所の一つとして、音声や画像、映像を付加することができるということが挙げられる。文字だけの情報でなく画像や映像を付加することにより、当該言語の話されている地域に関する情報を視覚的に提供できる。これまでのところ原稿に加えて写真（画像）の提供のあったものは少ないが、ホームページ作成後も写真の提供を執筆者に呼びかけ、随時追加していきたい。

ある言語の音声がどのようなものかは、文章で説明したり IPA で表記するだけでなく実際の音声を聞くのがよいことは明らかである。音声資料の提供はまだないが、写真同様、音声資料を追加していくことも考えている。

今回はまず『世界の言語ガイドブック』所収の言語について原稿執筆を依頼したが、依頼した言語以外についても執筆したいという申し出も何件か頂いている。ホームページが完成しても、その時点で作業が終了するわけではなく、すでに掲載した言語については情報を随時更新し、さらには言語数を追加していけば、本学にふさわしく充実した言語文化情報をインターネット上で提供できるであろう。

アラビア語 (al-luyat al-ʿarabiyya, 英 Arabic)

ロバート・ラトクリフ

概説

1. 系統

アフロアジア (セム・ハム) 語族、セム語派

2. 使用地域

中東、北アフリカ

2a. 公用言語としている国

北アフリカ：モーリタニア、モロッコ、アルジェリア、チュニジア、リビア、エジプト

東アフリカ：スーダン、ジブチ、ソマリア

アラビア半島：クウェート、カタール、バーレーン、アラブ首長国連邦、オマーン、イエメン、サウジアラビア

中東：シリア、レバノン、イラク、イスラエル、ヨルダン

2b. 教育言語としている国

(公用語としている国に同じ)

2c. 少数民族の言語として使われている国

ナイジェリア、チャッド、トルコ、イラン、アフガニスタン、ウズベキスタン。

3. 話者の人口

約2億人

4. 言語の歴史

最古の碑銘は4世紀から残るが、アラビア語の文学は6世紀の詩で始まった。7世紀の前半でイスラムの聖書コーランはアラビア語で書かれた。9世紀にコーランと前イスラム時代の詩を基本にして、アラビア語の文法が標準化された。現代の文語アラ

5. 言語の状態

6. 言語の構造

u (u:) i (i:)

au ai

a (a:)

- 12 -

6 c. 語順

V S (S V)

V O

N Adj

N Gen

N Rel

Dem N

Prep N

6 d. 語構成立

接辞、語幹内変化（複合なし）

7. 使用文字

アラビア文字

8. アラブ方言の相異点

「何を飲みたいですか」

「コーヒーが飲みたいです。」

「コーヒーを一杯持ってきて下さい」

文語

maaḏaa turiidu ʔan taʃraba
ʔuriidu ʔan ʔaʃraba qahwatan
dziʔ nii bi kaʔsi qahwatin

モロッコ

eʃ byiti təʃrəb
byit nʃrəb qahwa
ʒib li kes qahwa

エジプト（カイロ）

ʔaayiz tiʃrab eeh
ʔaayiz ʔaʃrab ʔahwa
gib li fingaana ʔahwa

パレスチナ（エルサレム） ʃuu biṯhibb tiʃrab

baħibb ʔaʃrab ʔahwe
dʒib li findʒaan ʔahwe

イラク（南ムスリム） ʃi triid tiʃrab
ʔariid ʔaʃrab gahwa
dʒiib lii findʒaan gahwa

言語情報データ

系統	アフロアジア（セム・ハム）語族セム語派
使用地域	中東、北アフリカ
話者人口	約2億
公用語としている国	北アフリカ：モーリタニア、モロッコ、アルジェリア、チュニジア、リビア、エジプト 東アフリカ：スーダン、ジブチ、ソマリア アラビア半島：クウェート、カタール、バーレーン、アラブ首長国連邦、オマーン、イエメン、サウジアラビア 中東：シリア、レバノン、イラク、イスラエル、ヨルダン
教育言語としている国	（公用語としている国に同じ）
使用文字	アラビア文字

インドネシア語 (bahasa Indonesia, 英 : Indonesian)

降幡 正志

概 説

1. 系統
2. 使用地域
3. 話者人口
4. 言語をめぐる歴史
5. 言語に関する状況
6. 文字と音声
7. 言語の構造と特徴

1. 系統

オーストロネシア語族・西部オーストロネシア語派（西部語派／ヘスペロネシア語派）・西部インドネシア語群。

2. 使用地域

インドネシア共和国。

3. 話者人口

Summer Institute of Linguistics: *Ethnologue* (13th ed.) は、母語としてのインドネシア語話者は17,000,000人から30,000,000人、第二言語としてのインドネシア語話者は140,000,000人以上という数字を挙げている。

インドネシア語の話者人口を特定するのは非常に困難である。これは、インドネシア語もしくは類似のムラユ語の変種の母語話者が2億人以上の人口を抱えるインドネ

シアのおよそ1割であり、他言語を母語とする残り約9割の人々が基本的にインドネシア語を国内の共通語として用いているという複雑な言語事情によるためである。

4. 言語をめぐる歴史

古来よりインドネシア地域ではムラユ語が交易用語として用いられ、広く行き渡っていた。このムラユ語がインドネシア語の起源である。

20世紀初頭以来、当時の蘭領東インドで民族主義運動が活発化し、1928年の「第2回インドネシア青年会議」の場において『青年の誓い』が採択・承認された。その一つに「統一言語インドネシア語を遵奉する」という文言があり、これが「インドネシア語」という名称が公式に用いられるようになった出発点である。

第二次世界大戦後、インドネシア共和国として独立し「インドネシア語」が国語となった。『多様性の統一』をモットーに掲げるインドネシアでは、各地域の母語としての地方語と、共通言語として用いられているインドネシア語が共存している。

5. 言語に関する状況

インドネシア国内には数百に及ぶ地方語が存在する。Summer Institute of Linguistics: *Ethnologue* (13th ed.) では、用いられている主な国を「インドネシア」とする言語を719挙げている。

これらの地方語のうち最大の話者人口を持つのはジャワ語で、インドネシアの人口の約4割に達する。以下スンダ語、インドネシア語、マドゥラ語、ミナンカバウ語、バリ語……と続いている。

教育・行政など公式な場面にはインドネシア語が用いられる。地方語は各自の地域に根付いた生活言語であり、その上にインドネシア共和国という国家の枠組の中でインドネシア語という共通語が覆い被さっている状況であると言える。

6. 文字と音声

6. 1. 文字

インドネシア語の表記には、ラテン文字を用いる。正書法では補助記号を用いることはない。e は /e/ と /ə/ の2音を表すため、両者を区別するために学習書や辞書で /e/ を é と表記することがあるのみである。

6. 2. 音声

(1) 母音

インドネシア語には、以下の6つの単母音がある（左側は正書法として用いる文字を示す：以下同様）。なお、母音の長短によって意味を区別することはない。

i [i]		u [u]
	e [ə]	
e [e]		o [o]
	a [a]	

この他、以下の3つの二重母音がある。いずれも開音節にのみ現れる。

ai [ai] / [ei]	oi [oi]
au [au] / [ou]	

(2) 子音

インドネシア語には以下の22の子音がある。このうち最下段の4つは外来語にのみ現れる。

p [p]	t [t]	k [k]		
b [b]	d [d]	g [g]		
s [s]	c [tʃ]	j [dʒ]	h [h]	
m [m]	n [n]	ny [ɲ]	ng [ŋ]	
r [r]	l [l]	w [w]	y [j]	
f / v [f]	sy [ʃ]	z [z]	kh [x / χ]	

無声閉鎖音 ([p], [t], [k]) は一般的に語末では破裂を伴わず閉鎖のみの発音となるため、日本人にとっては語がこれらの音で終わるか終わらないか、あるいはどの子音で終わるかを聞き分けるのが困難となる。

(3) アクセントとイントネーション

アクセントは語義の区別に関与しない。一般的に、終わりから2音節目にアクセントが置かれることが多いが、各自の母語の影響や感情、文における語の位置によって変わってくる。

イントネーションは、文の構造を示す上で非常に重要な役割を担う。例えば「私は日本人です」という文は「私(saya)」と「日本人(orang Jepang)」の2つの要素のみで言い表すが、イントネーションの型によって文を形成する。

7. 言語の構造と特徴

7. 1. 句内の語順

2語以上で句を形成する場合、その語順は「被修飾語－修飾語」となる。

bahasa Indonesia	「インドネシア語」	(bahasa「言語」、Indonesia「インドネシア」)
nama saya	「私の名前」	(nama「名前」、saya「私」)

ただし、数量を表す語は被修飾語よりも前に述べる。

tiga orang	「3人」	(tiga「3」、orang「人」)
banyak tamu	「多くの客」	(banyak「多い」、tamu「客」)

7. 2. 文の構造

文の基本的な構造は〔主部〕－〔述部〕。

〔述部〕は名詞句・動詞句・形容詞句・前置詞句などを取る。〔述部〕に名詞句を取る文をしばしば「名詞文」と呼ぶことがある。否定文では、名詞文はそれ以外とは異なる否定語を用いる（名詞文では *bukan*、それ以外の文では *tidak*）。

主部	(否定語)	述部	
Saya	(bukan)	orang Jepang.	「私は日本人だ（日本人ではない）」 (saya 「私」、orang 「人」、Jepang 「日本」)
Saya	(tidak)	pergi.	「私は行く（行かない）」 (pergi 「行く」)
Saya	(tidak)	tinggi.	「私は背が高い（高くない）」 (tinggi 「高い」)
Saya	(tidak)	membaca buku.	「私は本を読む（読まない）」 (membaca 「読む」、buku 「本」)
Saya	(tidak)	di sini.	「私はここにいる（いない）」 (di 「～に」、sini 「ここ」)

7. 3. 語彙の特徴

語彙に関する最も大きな特徴は、接辞（接頭辞・接尾辞）や重複による派生語が豊富に作られることである。jalan（道）を基語とする派生語の例を以下に示す。

jalan-jalan	「道」（複数）
berjalan	「動く、進む」
berjalan-jalan	「散歩する」
pejalan kaki	「歩行者」（kaki 「足」）
perjalanan	「旅行」
sejalan	「同じ方法」
menjalani operasi	「手術を受ける」（operasi 「手術」）
menjalankan tugas	「業務を行う」（tugas 「業務」）

言語情報データ

系統	オーストロネシア語族西部インドネシア諸語
主な使用地域	インドネシア
話者人口	母語話者：17,000,000 ～ 30,000,000（第二言語の話者として 140,000,000 を超える話者人口を持つ）

	※Summer Institute of Linguistics: <i>Ethnologue</i> (13th ed.) による
公用語として用いる国	インドネシア共和国
教育言語として用いる国	インドネシア共和国
使用文字	ラテン文字
主な使用地域における他の言語	ジャワ語, スンダ語, マドゥラ語, バリ語, ミナンカバウ語, その他

辞書・学習書一覧

◎辞書

書名	著者	出版社	出版年
『現代日本語－インドネシア語辞典』	末永晃	大学書林	1984
『インドネシア語辞典』	末永晃	大学書林	1992
『インドネシア語略語辞典』	栃木県インドネシア友好会の会編	栃木県インドネシア友好会の会	1992
『インドネシア語基本語用例辞典』	森村蕃	大学書林	1993
『日本語－インドネシア語辞典』	松浦健二	京都産業大学出版会	1994
『新聞を読むためのインドネシア語時事用語辞典』	服部英樹, 粕谷俊樹 共編	大学書林	1998
『すぐにつかえる日本語－インドネシア語－英語辞典』	深町敬子	国際語学社	1999
<i>Kamus Indonesia Inggris · An Indonesian-English Dictionary</i>	John M. Echols, Hassan Shadily	Gramedia	1989
<i>Kamus Inggris Indonesia · An English-Indonesian Dictionary</i>	John M. Echols, Hassan Shadily	Gramedia	1989

◎学習書

書名	著者	出版社	出版年	レベル
『インドネシア語の入門』	牛江清名	白水社	1975	入門・初級

『エクスプレス インドネシア語』	柴田紀男	白水社	1992	入門・初級
『基礎インドネシア語』	森村蕃	大学書林	1981	入門・初級
『辞書なしで学べるインドネシア語の最初歩』	高井京一	三修社	1994	入門・初級
『初めて学ぶインドネシア語』	高殿良博	語研	1996	入門・初級
『バタオネのちょばちょばインドネシア語／1』	ドミニクス・バタオネ, 近藤由美	I N J	1996	入門・初級
『超入門インドネシア語』	左藤正範	大学書林	1997	入門・初級
『こうすれば話せるCDインドネシア語』	大形里美	朝日出版社	1997	入門・初級
『インドネシア語が面白いほど身につく本』	ドミニクス・バタオネ, 近藤由美	中経出版	1997	入門・初級
『キーワードで覚える！やさしいインドネシア会話』	降幡正志	ユニコム	1998	入門・初級
『やさしい初歩のインドネシア語（増補版）』	舟田京子	南雲堂	1999	入門・初級
『始めてみようインドネシア語 基礎マスター 入門 全く初めてインドネシア語を学ぶ人のために』	ドミニクス・バタオネ, 近藤由美	アスク	1999	入門・初級
『話してみようインドネシア語 会話レッスン 入門 初心者でもインドネシア語で会話したい人のために』	ドミニクス・バタオネ, 近藤由美	アスク	1999	入門・初級
『決定版！インドネシア語／入門－初級』	深尾康夫, 大形利之	アルク	1999	入門・初級
『今すぐ話せるインドネシア語／入門編』	ファリーダ・イドリスノ, 好光智子	ナガセ	2000	入門・初級
『やさしいインドネシア語読本』	森村蕃	大学書林	1982	初級・中級
『インドネシア語の学び方』	松岡邦夫	大学書林	1983	初級・中級
『バタオネのインドネシア語講座／初級』	ドミニクス・バタオネ, 近藤由美	めこん	1989	初級・中級
『やさしいインドネシア語の決まり文句』	舟田京子	南雲堂	1989	初級・中級
『インドネシア語を書こう』	左藤正範	大学書林	1989	初級・中級
『インドネシア語を話そう』	左藤正範	大学書林	1991	初級・中級
『仕事に役立つインドネシア語』	左藤正範	大学書林	1995	初級・中級
『インドネシア語を読もう』	松岡邦夫, 左藤正範	大学書林	1986	中級
『手紙をインドネシア語で！今から書けるインドネシア語』	佐々木巧, イク・エندان・ムルティニ	南雲堂フエニック	1997	中級

文通』		ス		
『インドネシア語で手紙を書く』	ドミニクス・バタオネ, 近藤由美	めこん	1998	中級
『現代インドネシア語商業文』	服部英樹, 粕谷俊樹	大学書林	1989	中級・上級
『バタオネのインドネシア語講座／中級 口語編』	ドミニクス・バタオネ, 近藤由美	めこん	1990	中級・上級
『新聞のインドネシア語』	服部英樹, 粕谷俊樹	大学書林	1993	中級・上級

◎参考書

書名	著者	出版社	出版年
『インドネシア語分類単語集』	末永晃	大学書林	1978
『日本・インドネシア鉱工業用語辞典』	日本産業技術振興協会編	日本産業技術振興協会	1983
『インドネシア語文法研究』	松岡邦夫	大学書林	1990
『法廷通訳ハンドブック イン ドネシア語』		法曹会	1994
『インドネシア語常用会話辞典』	舟田京子	南雲堂フェニックス	1996
『科学・技術のインドネシア語』	宮脇一男	創栄出版	1996

学習機関一覧

◎専攻語学課程を設置している大学

大学名	郵便番号	住所	代表電話番号
東京外国語大学	183-8534	東京都府中市朝日町 3-11-1	042-330-5111
大阪外国語大学	562-8558	大阪府箕面市栗生間谷 東 8-1-1	0727-30-5111
天理大学	632-8510	奈良県天理市杣之内町 1050	0743-63-1515
京都産業大学	603-8555	京都市北区上賀茂本山	075-705-1437

◎専攻語学課程を設置している専門学校

専門学校名	郵便番号	住所	代表電話番号
アジア・アフリカ語学院	181-0004	東京都三鷹市新川 5-14-16	0422-48-5515
京都外国語専門学校	606-8351	京都市左京区岡崎徳成町 5	075-752-2300

◎大学の公開講座

学習機関名	郵便番号	住所	電話番号
上智大学 公開学習センター	102-8554	東京都千代田区紀尾井町 7-1	03-3238-3551
慶應義塾外国語学校	108-8345	東京都港区三田 2-15-45	03-5427-1592

◎その他の学習機関

学習機関名	郵便番号	住所	電話番号
朝日カルチャーセンター	163-0204	東京都新宿区西新宿 2-6-1 新宿住友ビル 4 F	03-3344-1948
I N J カルチャーセンター	105-0004	東京都港区新橋 6-4-8 M6 ビル 4 F	03-3438-4711
NHK文化センター	107-8601	東京都港区南青山 1-1-1 新青山西館 4 F	03-3475-1151
大学書林国際語学アカデミー	102-0085	東京都千代田区六番町 9 番地 AM ビル	03-3264-2132

(他に多数あり)

ウクライナ語 (Українська мова, 英 Ukrainian)

中澤 英彦

概説

1. 系統

インド・ヨーロッパ語族スラヴ語派の東スラヴグループに属する。

2. 使用地域

ウクライナ（1991 年まではソ連邦内の連邦構成共和国の一つ）

3. 話者人口

1989 年度の調査によれば、ウクライナの総人口は 5170 万人。そのうちウクライナ人は 3740 万人で総人口の 72.3%（ロシア人は 1140 万人で総人口の 22%）である。ウクライナ人の 12.2%がロシア語を母語とし、ロシア人の 34.4%がウクライナ語を準母語とするので、本国では話者人口約 3680 万人、本国以外の、ロシア連邦（436 万人）、カザフスタン、ポーランド、カナダやアメリカ合衆国などの南北アメリカ、オーストラリアなどに住むウクライナ語話者を計算に入れるならば、話者人口の合計は少なくとも 4000 万人以上になる。スラヴ語のなかではロシア語につぎ第二位の話者人口である。

4. 言語をめぐる歴史

スラヴ祖語（スラヴ諸語の共通の先祖）から分かれた古期ロシア語は、8～14 世紀の間に統一性を失い、現代のウクライナ語、ロシア語、ベラルーシ語と分かれていった。ウクライナ語の特徴は 12 世紀頃までには形成されていたにもかかわらず、様々な近隣諸国に支配され、世界史上類まれなほど頻繁にウクライナ語使用禁止令がしかれた。そのため言語の直線的な発達には阻害された。このような禁令にもかかわらず、母語による創作活動を続けた I.コトリャレフスキー（1769-1838）や T.シェフチェンコ（1814-1861）、P.クリシ（1819-1897）の作品および思想が、民衆の話し言葉を核として、教会スラヴ語（スラヴ世界初の文語である古代教会スラヴ語が東スラヴ語の特徴を取り入れたもの）の要素を取りこみ彫琢したのが現代ウクライナ語の基礎である。禁止令が部分的に解かれたのは 1905 年、完全かつ実質的に解かれたのは 1991 年の独立の時である。

5. 言語に関する状況

長期にわたる異国支配の下、とくにロシアの支配下で執拗に使用禁止令がだされた結果、ウクライナ語はおもに心ある知識階級の一部と地方、農村部で話される言語となっていた。ソ連邦時代には1920年代の一時期を除くと、ウクライナ語を用いることは反革命的行為とみなされて、社会生活上著しく不利益をこうむり、公には使用が困難であった。1991年の独立後はウクライナの公用語とされ、現地では「失われた時を求めて」積極的にウクライナ語を含む民族文化の教育が行われている。なおロシア語などの少数民族集団の言語も憲法でその育成、使用が保証されている。

6. 文字と音声

6. 1. 文字

у к р а ї н с ь к а а б е т к а (а л ф а в і т)

1	Аа	a	18	Нн	n
2	Бб	b	19	Оо	o
3	Вв	v	20	Пп	p
4	Гг	h	21	Рр	r
5	Ґґ	g	22	Сс	s
6	Дд	d	23	Тт	t
7	Ее	e	24	Уу	u
8	Єє	je	25	Фф	f
9	Жж	ž(zh)	26	Хх	x(kh)
10	Зз	z	27	Цц	c(ts)
11	Ии	y	28	Чч	č(ch)
12	Іі	i	29	Шш	š(sh)
13	Її	ji(i')	30	Щщ	šč (shch)
14	Йй	j	31	Ьь	'
15	Кк	k	32	Юю	ju(iu)
16	Лл	l	33	Яя	ja(ia)
17	Мм	m		'	"

ラテン文字への翻字法

6. 2. 音声

(1)母音 a, o, u, e, y, i

ウクライナ語には 6 つの母音がある。なお、母音の長短によって意味の区別をすることはない。

(2)子音 b, p, m, v, f, d/d', t/t', z/z', s/s', c/c', dz/dz', ž, š, č, dž, l/l', r/r', n/n', j, g, k, x, h

上の//は、/j/や母音の/i/のように舌の中央部を硬口蓋に近づけて発音することを表す。このような音をウクライナ語では軟音、それ以外の音を硬音といって峻別する。名詞類の変化型の区別などに役立つからである。

(3)アクセントとイントネーション

アクセントはストレスアクセントであり、語義の区別に関与する。単語ごとに決まった位置にある。イントネーションはコミュニケーション上で極めて重要な役割を果している。

7. 言語の構造と特徴

7. 1. 句内の語順

修飾語—被修飾語がふつうで被修飾語—修飾語はまれな語順である。

数量を表す語 - 名詞がふつうの語順で、名詞—個数詞の語順は概数を表す。

7. 2. 文の構造

文の基本的な構造は[主部]+[述部]といえる。ただし、形態上、語と文との区別のない名辞文やまた、非（無）人称文、普遍人称文、不定人称文など主部が現れない文型もある。

文の種類	主部	否定辞	述部	日本語訳
人称文	Я	(не)	японець. японка.	(男性の場合) 私は日本人です (ではありません)。 (女性の場合)
名辞文		Ранок.		朝だ。
非人称文	なし	(Не)	холодно.	寒い (寒くない)。
普遍人称文	なし		Вік живи, вік учись.	生きている限り学ぶもの (諺)
不定人称文	なし		Розмову продовжують.	話が続けられる。

7. 3. 言語の特徴

母音連続や子音連続を避ける特徴がみられるなど音声的に繊細な言語である。

名詞が格変化（主格、属格、与格、対格、具格、所格それに呼掛けに用いられる呼格）することと動詞が完了相、不完了相という相（一般言語学的にはアスペクト）で二分され、相が時制（過去時制、現在時制、未来時制）より重要な機能を果たすことが特徴である。

言語情報データ

系統	インド・ヨーロッパ語族スラヴ語派の東スラヴグループの一つ
主な使用地域	ウクライナ（正式名称は同じでウクライナ）
話者人口	母語話者 約 4000 万人以上
公用語として用いる国	ウクライナ
教育言語として用いる国	ウクライナ
使用文字	キリール文字
主な使用地域における他の言語	ロシア語、ベラルーシ語、ポーランド語、チェコ語、ロマ語など

学習機関一覧

ウクライナ語を専攻課程として設置している大学は日本にはない。また各種学校も受講生が希望すれば授業を開設するという状況である。

名称	郵便番号	住所	代表電話番号	形態
ウクライナ語教育機関				
東京外国語大学	183-8534	府中市朝日町 3-11-1	042-330-5111	平常の授業
大阪外国語大学	562-8558	箕面市栗生間谷東 8-1-1	0727-30-5055	授業の一部
専門学校				
大学書院国際語学アカデミー	102-0085	千代田区六番町 9	03-3264-2131	需要に応じて
外国語スクールアイザック	150	渋谷区渋谷 1-23-18 ワールドイーストビル 7F	03-3486-5531	需要に応じて

辞書・学習書一覧

書名	著者	出版社	出版年	レベル
I 学習書				
ウクライナ語入門	中井和夫	大学書林	1991	入門 初級
Modern Ukrainian	Humesky, A.	The Canadian Institute of Ukrainian Studies Press	1980	入門 中級
Colloquial Ukrainian	Press, I. 他	Routledge	1994	入門 初級
Ukrainian phrasebook	Bekh, Olena	Lonely Planet Publications	1996	入門 初級
II 辞典・語彙集類				
ウクライナ語基礎 1500 語	黒田龍之助	大学書林	1995	入門 初級
ウクライナ語語彙集	ウクライナ言語・文化研究会編	東京外国語大学語学教育研究協議会	1997	入門 中級
ウクライナ基本語辞典	日野貴夫他	アリテルナティブィ	1997	入門 中級
Українсько-Англійський Словник	Andrusyshen C.H. 他	University of Toronto Press	1957	中級 上級
Українсько-російський словник 7-е видання	Ильин В.С. 他	Українська Радянська енциклопедія	1990	中級 上級
Українсько-російський словник	Їжакевич Г.П. 他	Наукова думка	1999	中級 上級
Англо-Український словник Українсько-Англійський	Биховець Н.М. 他	Академія	1997	入門 中級
Російсько-український Українсько-російський словник 8-ме видання	Ганич Д.И. 他	A.C.K.	2000	中級 上級

ウルドゥー語 (urdū zabān 英 : Urdu)

萩田 博

概 説

1. 系統
2. 使用地域
3. 話者人口
4. 言語をめぐる歴史
5. 言語に関する状況
6. 文字と音声
7. 言語の構造と特徴

1. 系統

インド・ヨーロッパ語族、インド語派

2. 使用地域

パキスタン・イスラーム共和国、インド共和国。

3. 話者人口

ウルドゥー語を母語とする者はパキスタンで約1千万人、インド共和国では約5千万人と推定される。またウルドゥー語はパキスタンの国語であるため、人口1億3千万人のうち第2言語としてウルドゥー語を使用するものは相当数に上ると推定される。特にパキスタンの人口の半数以上を占めるパンジャービー語を母語とする人の大半が居住するパンジャブ州では教育媒介言語がウルドゥー語と英語であるため、ウルドゥー語を第2言語とする者は非常に多い。

4. 言語をめぐる歴史

近代インド・アーリヤ諸語の成立を10～11世紀頃に置くとすると、その当時から始まったペルシャ系及びトルコ系の諸民族のインド進出がウルドゥー語の成立の重要な契機となった。特に1206年からのデリー・ムスリム諸王朝、1526年からのムガル朝の時代に、当時デリー近郊で話されていたカーリー・ボーリー方言にペルシャ語及びペルシャ語に入っていたアラビア語の語彙、若干のトルコ語語彙が混交してウルドゥー語が成立していったと考えられるが、資料上の制約から、14世紀頃までの歴史的展開は明確ではない。

15世紀になると南インドのデカン地方に起こったムスリム王国でウルドゥー語による文学活動が行われるようになった。これをダキニー・ウルドゥー語と呼ぶこともある。18世紀にはいると北インドでもウルドゥー語による文学活動が盛んになり、資料

も豊富になってくる。ウルドゥーという言葉名は本来は zab·n·e urd·e muall·e ·jah·n·b·d (シャージャハーナーバード (デリーの旧称) の高貴な陣営の言葉) というペルシア語による呼称が短縮され urd· のみになったとされている。

19 世紀後半になるとイギリスのインド植民地支配の下で、政治的・経済的利害が原因で元来同一言語であるヒンディー語とウルドゥー語が特に語彙の面で分化していくようになる。

1947 年のインド・パキスタン分離独立後、避難民としてインドからパキスタンに移住したウルドゥー語話者は主としてカラチ、ハイダラーバードなどスィンド州の都市部に定住した。パキスタン国内での彼らの人口比は 6～7 パーセントにとどまっているが、ウルドゥー語は多民族国家パキスタンの共通語として全土にわたってかなり普及している。

5. 言語に関する状況

パキスタンでは主な地方語としてパンジャービー語、スィンディー語、パシュトー語、バローチー語などがある。スィンド州では教育言語を巡ってウルドゥー語支持者とスィンディー語支持者の間に紛争が引き起こったことがある。インドではウルドゥー語の話者はウッタルプラデーシュ州、ビハール州などに比較的集中しているが、ヒンディー語の普及によって、ウルドゥー語の文字を読み、書くことのできるものが、特に若年層で減少傾向にあると言える。

6. 文字と音声

文字：

ウルドゥー語の表記はペルシア文字 (32 文字) にインド系の音を表記するために使用される 3 文字を加えたアラビア系文字を使用する。

音声：

母音は以下のとおり。またそれぞれに鼻母音がある。

/a, ā, i, ī, u, ū, e, ai[ɛː, æː], o, au[oː]/

子音は以下のとおり。

/b, p, t, ʈ, s, j, c[ʰ], h, x, d, ɖ, z, r, ɽ, ʒ, ʃ, ʁ, f, q, k, g, l, m, n, v, y, bh, ph, th, ʈh, jh, ch, dh, ɖh, ɽh, kh, gh/

アクセントとイントネーション：

アクセントはウルドゥー語では語義の区別には関与しない。語中の長母音にアクセントが置かれることが多い。イントネーションは平叙文では下降調、疑問詞をともなう疑問文では疑問詞が上昇調、疑問詞をともなわない疑問文では文末が上昇調になる。

7. 言語の構造と特徴

語順：

ウルドゥー語の語順は日本語と同じように主語＋目的語＋動詞となるのが普通である。

言語の特徴：

述語部分に他動詞の過去分詞が用いられると主語が ne という後置詞をとるという能格構文がある。

学習書

書名	著者	出版社	出版年	解説
基礎ウルドゥー語	鈴木斌	大学書林	1981	ウルドゥー語文法の基礎が丁寧に解説されている。ウルドゥー文字を完全に習得していなくても読み進められるように、ローマ字とカタカナによる発音表記が付されている。
ウルドゥー語文法の要点	鈴木斌	大学書林	1996	上記『基礎ウルドゥー語』の姉妹編。ウルドゥー語学習に必要な文法事項がほぼ網羅されている。『基礎ウルドゥー語』で「現在分詞」、「過去分詞」として説明されているものがそれぞれ「未完了分詞」、「完了分詞」となっていることに注意されたい。
基礎ウルドゥー語読本	鈴木斌	大学書林	1986	
ウルドゥー文学名作選	麻田豊	大学書林	1983	

実用ウルドゥー語会話	鈴木斌、ム ハ ン マ ド・ライ ス・アラ ヴィー	大学書林	1986	
<i>Teach Yourself Urdu</i>	Matthews, David and Dalvi, Mohamed	London, Hodder&Stought on	1999	パキスタンやイン ドを舞台にして外 国人とウルドゥー 語話者の間に交わ される生き生きと した会話を各 dialogue で取り上 げ、文法事項、文 化的背景の説明が なされている。練 習問題も豊富。
<i>Colloquial Urdu, The Complete Course for Beginners</i>	Bhatia, Tej K. and Koul, Ashok	London and New York, Routledge	2000	日常会話が各 unit の冒頭に取り上げ られ、その文法解 説が続くというス タイルになっている。学習者の便宜 を考慮してか本編 はすべてローマ字 発音表記と英語訳 のみである。後半 にある script unit で文字の書き方が 丁寧に解説されて いる。初版には若 干の誤植がみられ る。
<i>Urdu: An Essential Grammar</i>	Schmidt, Ruth Laila	London and New York, Routledge	1999	ウルドゥー語の基 礎文法を修得した ものが、より詳し く文法事項を学ぶ ためのもの。用例 が豊富である。

<i>A Course in Urdu</i> . [reprint] <i>Spoken Urdu: A Course in Urdu</i> (Ithaca, N. Y., Spoken Language Services, 1974) 3 vols.	Barker, M. A. R. et al.	Montreal, Macgil University	1967	1, 2 巻が本編で、3 巻は語彙集となっている。現在までに出版されたウルドゥー語の学習書のなかで最も充実した内容を持つ。unit ごとに会話を中心としたテキスト、詳しい語彙解説、文法解説と続き、練習問題も非常に豊富である。あえて難点を言えば、最後まで読み通すには相当の意欲を必要とすることである。
<i>Hindi Urdu Bol-Chaal: A Beginner's Course in Spoken Hindi and Urdu on BBC Television.</i>	BBC	London, BBC Books	1989	イギリスの BBC で放送された番組のテキスト。日常会話の基礎が学べる。

辞典・語彙集

書名	著者	出版社	出版年	解説
ウルドゥー語基礎 1500 語	鈴木斌編	大学書林	1978	ウルドゥー語・日本語辞典（語彙集）としては今のところ左記の2点しかない。初学者には『ウルドゥー語常用 6000 語』も大いに役立つだろうが、やがてはウルドゥー語・英語辞典を使わざるを得なくなる。
ウルドゥー語常用 6000 語	鈴木斌・麻田豊編	大学書林	1980	
日本語ウルドゥー語 小辞典	鈴木斌・麻田豊編	大学書林	1992	

<i>An Urdu Newspaper Word Count</i> [Reprint] <i>Urdu-English Vocabulary: Students Pronouncing Dictionary</i> (Ithaca, N. Y., Spoken Language Services, 1980)	Barker, M. A. R. et al	Montreal, Macgill University	1967	動詞句がとる後置詞を明示するなど実用的な語彙集。訳語も簡潔。
<i>Kitabistan's 20th Century Standard Dictionary: Urdu into English for Modern Readers and Foreign Learners of Pakistan's National Language</i> [India Edition] <i>Standard Twentieth Century Dictionary: Urdu into English</i> (Delhi, Educational Publishing House. 1985).	Bashir Ahmad Qureshi (comp.)	Lahore, Kitabistan, n. d.		ウルドゥー語・英語辞典はいくつか類書があるが、この辞典は連語、慣用句などもかなり詳しく載っている。ウルドゥー語で使われる多くのアラビア語不規則複数形も主見出しに載っており、初学者必携の辞典と言える。ただし、この辞典を使いこなすためには接辞（接頭辞、接尾辞など）に関する知識を必要とする。
<i>A Dictionary of Urdu, Classical Hindi, and English</i> , 5th impression (1930)	Platts, John T.	Oxford, Oxford University Press	1974	この辞典は 1884 年に出版されており、ウルドゥー語・英語辞典の古典的名著である。主見出し語の多くにはサンスクリット語、プラークリット語、アラビア語、ペルシャ語など、語源に関する情報が付されている。現代のウルドゥー語を学ぶ場合には語義等かなり変化しており、使用に注意を要する。インド、パキスタン両国からこの辞典の安価なリプリント版が発売されている。

<i>Ilm· Urd· Lu·at, j·me</i>	Waris Sirhindi	Lahore, Ilmi Kitabxana		一巻本のウルドゥー語・ウルドゥー語辞書として充実した内容。
----------------------------------	-------------------	---------------------------	--	-------------------------------

ウルドゥー語学習機関

機関名	〒	住所	電話
東京外国語大学		東京都府中市朝日町 3 - 1 1 - 1	042-330-5127
大阪外国語大学	562-8558	大阪府箕面市栗生間谷 8-1-1	0727-30-5111
大東文化大学国際 関係学部	355-8501	埼玉県東松山市岩殿 560	0493-31-1504

一般の人がウルドゥー語を学習できる機関

機関名	住所	電話	解説
日本パキスタン協 会	東京都港区赤坂 8-10-32	03-3478-0876	不定期ではあるが ウルドゥー語の講 習会を開催してい る。

オランダ語 (Nederlands, 英 : Dutch)

降幡 正志

概 説

1. 系統

インド・ヨーロッパ語族 西ゲルマン語派。

2. 主な使用地域

オランダ語を母語として用いている地域はオランダ王国、ベルギー王国（およそ北半分）。このほかアンティル諸島（カリブ）、スリナム共和国（南米）で公用語として用いられている。

3. 話者人口

1994年現在、オランダ語を母語話者とする人口はオランダ王国に約1,534万人、ベルギー王国に約570万人、合わせて約2,104万人。このほか、アンティル諸島、スリナム共和国などのオランダ語話者を合わせると、2,200万人以上にのぼると思われる（三省堂『世界の言語ハンドブック 1』による）。

4. 言語に関する状況

4. 1. 方言（地方語）と共通オランダ語

オランダ語はホラント方言、リムブルフ方言、ブラーバント方言、フラーメス語（フラマン語、フランデレン語、フランドル語）、サクソン方言、フリース語（フリジア語、フリースラント語、フリスク語）などの方言もしくは地方語に分けられる。

いわゆる共通語としてのオランダ語はA B N (Algemeen Beschaafd Nederlands) と呼ばれる。

4. 2. フラームス語

ベルギーで使われているオランダ語はフラームス語（フラマン語、フランデレン語、フランドル語）と従来称されるが多かったが、これはオランダ語とは別個の言語ではなくオランダ語の一方言と見なされ、現在ではオランダ語という呼称にほぼ統一されている。

5. 言語をめぐる歴史

オランダ語の歴史は、以下の3つの時期に区分されている。

（1）古オランダ語（8～12世紀）：記録が少なく、実体がよくわかっていない。

（2）中世オランダ語（12～15世紀）：12～14世紀にベルギーのフランデレン地方を中心に発展、15世紀にはブリュッセルを中心とするブラーバント地方で体系を整えていった。

（3）近代オランダ語（16世紀～現代）：政治・経済・文化の中心がオランダに移ったこともあり、オランダ語はこの時代からオランダを中心に発展していった。17世紀に多数現れた優れた文学作品や、1637年に刊行された国定訳聖書は、近代オランダ語の形成に大きく貢献した。

6. 使用文字

オランダ語の表記にはラテン文字を用いる。必要に応じて、母音の上に補助記号 ˙ 及び ˘ を用いる。 ˙ は直前の母音と合わせて二重母音になるのではなく、直前の母音と異なる音節となることを表す際に用いられる。一方、不定冠詞と数詞「1」は同じく een と綴るが、文脈によって「1」を意味することを明示する必要があるときには ˘ を用いて één とすることがある。

7. 発音

7. 1. 母音

弛緩母音（短母音）・緊張母音（長母音）の区別があり、弛緩母音は閉音節にのみ現れる。下の表で、[] 内は音価を、その右は綴りを示す。

弛緩母音		緊張母音	
		開音節／閉音節	
[ɪ]	i	[i:]	i, ie / ie
[ɛ]	e	[e:]	e / ee
[ɑ]	a	[a:]	a / aa
[ɔ]	o	[o:]	o / oo
[ʏ]	u	[y:]	u / uu
		[u]	oe
		[ø]	eu

また二重母音として、以下のものがある。

[ɛi]	ei, ij
[œy]	ui
[ɔu]	ou, ouw, au, auw

なお、強勢のない e, i, ij はしばしば [ə] と発音される。

7. 2. 子音

オランダ語の子音のうち、特に注意すべき点は以下の通りである。

- (1) g は破裂音ではなく [x] (軟口蓋摩擦音) と発音する。
- (2) ch は [x] と発音する (外来語は [ʃ][tʃ] となることもある)。
- (3) sch は [sx] と発音する (ただし語末では [s])。
- (4) w は [v] (唇歯接近音) と発音する。
- (5) b, d は語末では無声音 ([p], [t]) となる。
- (6) -tie は [si:] もしくは [tsi:] と発音される。

7. 3. アクセント

第1音節にアクセントが置かれる語が多いといわれている。しかし、第2音節以降にアクセントが置かれる語も少なくない。特に外来語はアクセントの位置を特定することは非常に難しい。また、アクセントを持たない前綴り (接頭辞) や、語義によってアクセントの有無の変わる前綴りなどもある。アクセントの位置を一般化することは困難であり、逐次辞書等で確認する必要がある。

8. 言語の特徴

8. 1. 名詞の性

名詞は、通性名詞と中性名詞の2種類に分類される。単数形で用いられる定冠詞は、通性名詞は *de*、中性名詞は *het* である。ただし、複数形で用いられる定冠詞はいずれも *de* となる。

8. 2. 分離動詞

複合動詞（2つの要素からなる動詞）で、文中で前綴りの部分が分離して文末に現れるものを分離動詞という。分離動詞はオランダ語では珍しいものではなく、非常に多く用いられる。

Ik ga met u mee. 「私はあなたに同行します。」

※ *ik* 「私」、*met u* 「あなた（と一緒に）に」、*meegaan* 「同行する」

上の文では、*meegaan* 「同行する」の前綴り(*mee-*)が分離して文末に現れている (*ga* は *gaan* の1人称単数現在形)。

8. 3. 文の語順

オランダ語の基本的な語順は、[主語]－[(定形)動詞]－[その他(目的語、副詞など)]である。しかし、語順には以下のような特徴がある。

(1) 主語以外のものが文頭に現れた場合、その後は [(定形)動詞]－[主語] と続く(定形倒置)。

Wat spelen zij? 「彼らは何をしているの？」

※ *wat* 「何」、*spelen* 「する」、*zij* 「彼ら（主格）」

(2) 従属節内では定形動詞は最後尾に現れる(定形後置)。

Toen hij me dat vertelde, 「彼がそれを私に話したとき、....」

※ toen 「～したとき」、hij 「彼（主格）」、me 「私（目的格）」、dat 「それ」、vertelde 「話した（過去形：単数 <vertellen 「話す、語る」）」

（３）助動詞を伴う場合、助動詞が定形の位置を占め、動詞は文末に現れる。

Ik kan Nederlands niet spreken. 「私はオランダ語を話せません。」

※ kan 「できる（助動詞：１人称単数現在）」、niet （否定詞）、spreken 「話す」

〔参考文献〕

桜井隆(1988). 「オランダ語」, 『言語学大辞典（第１巻）』, 三省堂.

佐藤弘幸(1998). 「オランダ語」, 『世界の言語ガイドブック 1』（東京外国語大学語学研究所編）, 三省堂.

B. C. ドナルドソン(1999). 『オランダ語誌』（石川光庸・河崎靖訳）, 現代書館.

言語情報データ

系統	インド・ヨーロッパ語族 西ゲルマン語派
主な使用地域	オランダ王国、ベルギー王国（およそ北半分）、アンティル諸島（カリブ）、スリナム共和国（南米）
話者人口	約 2,200 万人
公用語として用いる国	オランダ王国、ベルギー王国、スリナム共和国
使用文字	ラテン文字

辞書・学習書一覧

◎辞書

書名	著者	出版社	出版年
<i>Cassell's English-Dutch, Dutch-English Dictionary</i> (Engels-Nederlands, Nederlands-Engels Woordenboek)		Cassell	1981
『講談社オランダ語辞典』	P.G.J. van Sterkenburg, W.J. Boot, 日蘭学会監修	講談社	1994

◎学習書

書名	著者	出版社	出版年	レベル
『オランダ語文法入門』	塩谷饒	大学書林	1979	入門・初級
『エクスプレス オランダ語』	桜井隆	白水社	1986	入門・初級
『オランダ語四週間』	朝倉純孝	大学書林	1971	初級・中級
『オランダ語会話練習帳』	鳥井裕美子	大学書林	1994	初級・中級

◎語彙集・参考書

書名	著者	出版社	出版年
『オランダ語基礎 1500語』	檜枝陽一郎	大学書林	1991
『オランダ語常用 6000語』	朝倉純孝	大学書林	1959
『オランダ語誌』	B. C. ドナルドソン	現代書館	1999
『日本におけるオランダ語研究の歴史』	斎藤信	大学書林	1985
『オランダ語文典』	朝倉純孝	大学書林	1983

学習機関一覧

◎オランダ語の授業を開講している大学

大学名	郵便番号	住所	代表電話番号
東京外国語大学	183-8534	東京都府中市朝日町 3-11-1	042-330-5111

◎オランダ語講座を開講している学習機関

学習機関名	郵便番号	住所	電話番号
日蘭学会	104-0006	東京都中央区銀座 1-25-3 中央区役所京橋プラザ分庁舎内 3F	03-3567-2123
朝日カルチャーセンター	163-0204	東京都新宿区西新宿 2-6-1 新宿住友ビル 4 F	03-3344-1948

カンボジア語（クメール語）

（ ភាសាខ្មែរ 英：Cambodian, khmer ）

上田 広美

概説

1. 系統
2. 使用地域
3. 話者人口
4. 言語をめぐる歴史
5. 言語に関する状況
6. 文字と音声
7. 言語の構造と特徴
8. カンボジアの地図

1. 系統

オーストロアジア語族のモン・クメール語族に属す。

2. 使用地域

カンボジア語はカンボジア王国の国語であり、同国の主要構成民族であるクメール族の言語であることからクメール語とも呼ばれる。他に、タイ、ベトナム、ラオスにも話者がいる。

3. 話者人口

現在の正確な使用人口は不明であるが、カンボジア国内の人口 11,437,656 人（1998 年国勢調査）の 9 割以上の他、タイのスリン、ブリラム、シーサケートの 3 県を中心に約 130 万人（1995 年マヒドン大学農村開発言語文化研究所調査報告）、ベトナム南部

に約 90 万人（1989 年国家人文社会科学学院統計）、ラオス国内に数千人、またアメリカ、フランス、オーストラリア、カナダ等への定住者が約 23 万人（国連難民高等弁務官事務所）と推定されている。日本にも関東地方を中心に約千人が定住した。

4. 言語をめぐる歴史

カンボジアは古くからインド文化の影響を受けたため、パーリ語、サンスクリット語からの借用語が圧倒的に多い。また日常用語は中国語から、数詞や行政用語はタイ語からも借用している。植民地期にはフランス語が公用語とされていたため、フランス語からの借用も多い。独立後、それらの語彙をカンボジア語に置き換える運動が始まったが、内戦が勃発したため、中断されたまま現在に至っている。

5. 言語に関する状況

カンボジアでは 1970 年から 20 年以上内戦が続き、言語もその影響を受けた。内戦終了後のカンボジア王国憲法（1993 年公布）第 5 条では、カンボジア語が国語として規定されたが、国語辞典の整備、初等教育の国語の教科書を含めた出版物の綴りの統一、文字の電算化等、内戦のために停滞した課題は多い。

カンボジアの人口の残りの 1 割は、潮州、広東、福建、海南、客家、ラオ、ベトナム、チャム、ラデ、ジャライ、ペアル、サムレ、サオチ、チョン、ラヴェン、ブラオ、クルン、クラヴェット、タムプアン、スティエン、プノン、クイ等の人々によって構成されている。

6. 文字と音声

6. 1. 文字

クメール文字は、南インドから伝えられた文字を独自に発展させた表音文字で、最古の記録は、カンボジア王国タケオ州で発見された、シャカ暦 533 年（西暦 611 年）と記された碑文である。左から右に書き、分かち書きはしない。文字の仕組みは、33 個の子音文字の上下左右に 22 種類の母音記号をつける。子音文字には「脚」と呼ばれるもう一つの字体があり、一つの語の中で子音が連続している時にはこれを用いる。古くから使用されていた文字に対し音声が変わったため、二つの文字が同一子音を表す一方、同一記号が二つの母音を表すという複雑な体系をなしている。

例: ក្រែល = ក្រ + ល + រ + ល = 「クメール」

母音記号 + 子音文字 + 脚 + 子音文字

6. 2. 音声

(1) 母音

カンボジア語には9つの単母音がある。うち8つの母音には対応する長母音がある。さらに発音されるとき喉の緊張の度合いが弱くなる弛喉母音、弛喉長母音、そして二重母音を合わせると36種類になる。

	緊喉母音			弛喉母音		
短母音	i	u	u			
	e	ə	o	è	à	ò
	ɛ	a	ɔ	è		ò
長母音	ii	uuu	uu			
	ee	əə	oo	èe	àə	òo
		aa	ɔɔ	èɛ		òɔ
二重母音	ia	ua	uo	èa		
		ae	ɔə	èə		
		aə				
		ao				

(2) 子音

カンボジア語には以下の17の子音がある。その他に借用語にのみ現れる f がある。無声閉鎖音には有気音と無気音の区別がある。二重子音は音節頭にのみ現れる。音節末子音は13種類で、短母音と èə には必須である。

	唇歯音	両唇音	歯茎音	硬口蓋音	軟口蓋音	声門音
無声閉鎖音		p	t	c	k	ʔ
有声閉鎖音		b	d			
鼻音		m	n	ɲ	ŋ	
弱摩擦音	v			j		
ふるえ音			r			
両側音			l			
摩擦音			s			h

7. 言語の構造と特徴

借用でない本来のカンボジア語は単音節語か、それに接辞をつけて派生させた二音節語である。接辞には、前接辞と接中辞があり、接尾辞はない。いずれも現在では造語能力を失っている。名詞や代名詞の数や格による変化や動詞の活用等の語形変化はない。基本語順は、[主語－述語－補語] [被修飾語－修飾語] [付属語－自立語] である。

言語情報データ

系統	オーストロアジア語族のモン・クメール語族
主な使用地域	カンボジア
話者人口	約1千万人
公用語として用いる国	カンボジア王国
教育言語として用いる国	カンボジア王国
使用文字	カンボジア（クメール）文字
主な使用地域における他の言語	中国語、ベトナム語、チャム語、その他

辞書・学習書一覧

◎辞書

書名	著者	出版社	出版年
『カンボジア語辞典』	坂本恭章著	大学書林	1991（第2版）
『日本語・カンボジア語辞典』	ペン・セタリン， 峰岸真琴編著	めこん	1991
『カンボジア語辞典』	坂本恭章著	東京外国語大学 外国語学部	1993
『日本語・カンボジア語辞典』	坂本恭章著	東京外国語大学 外国語学部	1995
『カンボジア語大辞典』	坂本恭章著	東京外国語大学 アジア・アフリカ 言語文化研究所	2001（予定）

◎学習書

書名	著者	出版社	出版年	レベル
『エクスプレス カンボジア語』(カセットテープ別売り)	上田広美著	白水社	2000	初級・中級
『カンボジア語入門』(カセットテープ別売り)	坂本恭章著	大学書林	1989	初級・中級

学習機関一覧

◎専攻語学課程を設置している大学

専門学校名	郵便番号	住所	代表電話番号
東京外国語大学	183-8534	東京都府中市朝日町3-11-1	042-330-5111

◎一般向けのコースがある機関

専門学校名	郵便番号	住所	代表電話番号
東京外国語大学公開講座	183-8534	東京都府中市朝日町3-11-1	042-330-5111
大学書林国際語学アカデミー	102-0085	東京都千代田区六番町9番地 AMビル	03-3264-2132
朝日カルチャーセンター東京校	163-0204	東京都新宿区西新宿、新宿住友ビル私書箱22号	03-3344-1941
桜美林大学生涯学習センター	194-0294	東京都町田市常盤町3758	042-797-6948

スペイン語 (español, castellano. 英 : Spanish)

寺崎 英樹

概説

1. 言語名

スペイン語 (español, castellano. 英 : Spanish)

2. 言語の基本構造

2. 1. 母音 : 5

	前舌	後舌
狭	i	u
半狭	e	o
広	a	

2. 2. 子音 : 19

		唇音	歯音	歯茎	硬口蓋	軟口蓋
閉鎖音	(無声)	p	t			k
	(有声)	b	d			g
摩擦音		f	θ	s	ʝ	x
破擦音					tʃ	
鼻音		m		n	ɲ	
側面音				l	ʎ	
弾き音				r		
震え音				r		

2. 3. 構文・語順

1) 句内の語順

動詞句 : 動詞 + (目的語),

名詞句 : (限定詞) + 名詞 + (形容詞),

前置詞句 : 前置詞 + (限定詞) + 名詞

2) 文の構造

文の基本的構造は「主語＋動詞＋補語」であるが、気象現象・存在などを表す動詞の構文では主語がない。主語は文頭に来ることが多いが、かなり位置が自由であり、心理動詞などは主語後置が原則である。また、主語が代名詞化されると普通は動詞の人称語尾によってのみ表示される。

Voy a España.	私はスペインへ行く。
Soy japonés.	私は日本人である。
Leo un libro.	私は本を読む。
El estudiante lee un libro.	その学生は本を読む。
No lee un libro.	彼（彼女）は本を読まない。
Llueve mucho.	大雨が降っている。
Hay un gato en el sofá.	ソファの上にはネコがいる。
Me gusta la música clásica.	私はクラシックが好きだ。

2. 4. 語構成法

主な語形成の方法としては派生と複合がある。

派生は接辞（接頭辞、接尾辞）の添加による。

piano ピアノ > pianista ピアニスト > pianísitco ピアニストの
núcleo 核 > nuclear 核の > antinuclear 反核の

複合は2語の結合が多く、3語以上の結合は非常に少ない。正書法上は1語として融合するか、2語のまま分かち書きをした形式になるのが普通である。

para- 止める + agua 水 > paraguas 雨傘
coche 車 + cama 寝台 > coche cama 寝台車

3. 使用文字・正書法

ラテン文字 27 字を用いる。

A B C D E F G H I J K L M N Ñ O P Q R S T U V W X Y Z

英語のアルファベットに比べると、スペイン語独特の文字 Ñ（エニエ）が加わって1字多い。母音字の上に付ける補助記号が2種類ある： á, ü
正書法は非常に合理的・規則的で、完全にスペイン語化していない外来語を除くと規則どおりに読めばよい。

4. 話者人口

母語話者は332,000,000人で、中国語について世界第2位の人口を持つ言語とされる(SIL, 1999による。以下の数字も同じ)。スペイン語人口が最大の国はメキシコ(8600万)で、コロンビア(3400万)、アルゼンチン(3300万)、スペイン(2800万)、アメリカ合衆国(2200万)、ベネズエラ(2100万)、ペルー(2000万)、チリ(1400万)、キューバ(1000万)、エクアドル(950万)などがこれに次ぐ。

5. 使用地域

5. 1. 公用語として用いる国

独立国：スペイン、メキシコ、グアテマラ、ホンジュラス、エルサルバドル、ニカラグア、コスタリカ、パナマ、キューバ、ドミニカ共和国、コロンビア、ベネズエラ、エクアドル、ペルー、ボリビア、チリ、アルゼンチン、ウルグアイ、パラグアイ、赤道ギニア(計20カ国)

非独立の地域：プエルトリコ(米領、英語とスペイン語が公用語だが、住民の大部分はスペイン語話者)

5. 2. 少数民族の言語として用いられている国

アンドラ(公用語はカタルーニャ語とフランス語だが、住民の半数はスペイン語話者)、アメリカ合衆国、ジブラルタル(英領、公用語は英語だが、住民の大部分はスペイン語話者)、モロッコ、フィリピン

6. 系統

インドヨーロッパ語族イタリック語派ラテン・ファリスキ語群ロマンス諸語イベロ・ロマンス語群

7. 言語の歴史

ローマの帝政期に話されていた俗ラテン語は、西ローマ帝国滅亡後、各地で方言に分化して次第にラテン語から遠ざかり、8世紀頃にはロマンス語と言われる状態に変化した。イベリア半島で発生したロマンス語方言の一つであるカスティーリャ語は、半島北部のカンタブリア地方に由来するが、その地方を含むカスティーリャ王国の歴史的発展とともに使用領域が飛躍的に拡大し、13世紀にはいち早く文章語の規範を確立してラテン語に代わり同王国の公用語となった。

15世紀後半にスペインの国家統一が達成されると、他の言語を圧倒して主要な国家語の地位を占め、同時期にスペインの新大陸進出が始まってからは新大陸やアジアの植民地にも移植された。16世紀後半から17世紀前半にかけて文化史上「黄金世紀」と言われる時代にはセルバンテスをはじめとする古典文学が隆盛となり、ますますその威信を強

め、スペイン語という呼称が一般化するに至った。黄金世紀は音韻変化の著しい時代でもあり、17世紀後半に近代スペイン語の音韻体系が確立した。

8. 言語に関する状況

スペイン国内ではスペイン語以外のロマンス語としてカタルーニャ(カタロニア)語、アラゴン語、アストゥリアス語、ガリシア語などがあり、非インドヨーロッパ系の言語としてバスク語がある。1978年制定の憲法では国家公用語であるスペイン語とともに自治州が独自の公用語を併用することを認めている。その結果、カタルーニャ語、ガリシア語、バスク語がそれぞれの自治州でスペイン語と並ぶ公用語とされ、各種レベルの公立学校で教育も行われている。しかし、スペイン語以外の言語話者の大部分はスペイン語との二言語併用者である。

ラテンアメリカのスペイン語圏では先住民の住む地域でアメリカ・インディアン諸語が使用されている。スペイン語の浸透度は地域により、また社会的階層により相違し、大都市ではスペイン語のみ、農村では二言語併用の場合が多いが、地域によってはインディアン諸語だけの一言語使用者もいる。先住民の主要な言語としてはナウア語(メキシコ)、マヤ語(メキシコ、グアテマラ、ベリーズ)、ケチュア語(コロンビア、エクアドル、ペルー、ボリビア、アルゼンチン、チリ)、アイマラ語(ボリビア、ペルー)、トゥピ語(ブラジル、パラグアイ、アルゼンチン、ボリビア)、グアラニー語(パラグアイ)などがある。この地域の中でパラグアイではグアラニー語、ペルーではケチュア語がスペイン語とともに公用語となっている。

アメリカ合衆国にはスペイン語を母語とするヒスパニック系が2200万人以上いる。その大半はメキシコ系で、プエルトリコ系、キューバ系がこれに次ぐ。特に話者が多い地域は南西部(メキシコ系)、ニューヨーク(プエルトリコ系)、フロリダ(キューバ系)である。プエルトリコとニューメキシコ州では英語とともに公用語とされている。ヒスパニックは人口増加率が高いので、英語話者の間にはスペイン語に対する警戒心を強め、カリフォルニアなどでは英語のみを公用語に指定しようとする動きも見られる。約300年間スペインの植民地であったフィリピンには50万人のスペイン語話者がいるとも言われるが、その大部分は第2言語としてスペイン語を使用するか、またはチャバカーノ語などスペイン語系クレオール語の話者であると見られる。現在、母語話者は5000人程度にすぎず、減少傾向にある。しかし、公用語であるフィリピン語(タガログ語)には語彙面でスペイン語の影響が大きく残っている。

かつてスペイン領であった赤道ギニアではスペイン語が公用語であるが、90年代以降政策的にスペイン語を排除しようとする動きも出ている。

15世紀末にスペインはユダヤ人を国外追放したが、その人たちの言語はスペインから切り離されたため独自の変化を遂げ、ユダヤ・スペイン語あるいはラディーノ語、ジュデズモ語とも呼ばれる。バルカン半島やトルコ、イスラエルに残存するが、話者は減少

傾向にある。

なお、国連でスペイン語は6つの公用語の中の1つである。

言語情報

言語名	スペイン語 (español, castellano. 英: Spanish)	
系統	インドヨーロッパ語族イタリック語派ラテン・ファリスキ語群ロマンス諸語イベロ・ロマンス語群	
話者人口	母語話者は332,000,000人で、中国語について世界第2位の人口を持つ言語とされる (SIL, 1999による。以下の数字も同じ)。スペイン語人口が最大の国はメキシコ (8600万) で、コロンビア (3400万)、アルゼンチン (3300万)、スペイン (2800万)、アメリカ合衆国 (2200万)、ベネズエラ (2100万)、ペルー (2000万)、チリ (1400万)、キューバ (1000万)、エクアドル (950万) などがこれに次ぐ。	
使用地域	ヨーロッパ:	スペイン, ジブラルタル (英領), アンドラ
	アフリカ・中東:	モロッコ, 赤道ギニア
	アメリカ:	メキシコ, グアテマラ, ホンジュラス, エルサルバドル, ニカラグア, コスタリカ, パナマ, キューバ, ドミニカ共和国, コロンビア, ベネズエラ, エクアドル, ペルー, ボリビア, チリ, アルゼンチン, ウルグアイ, パラグアイ (以上ラテンアメリカの18カ国), アメリカ合衆国, プエルトリコ (米領)
	アジア・オセアニア:	フィリピン
	以上の地域のうち、スペイン, ラテンアメリカ18カ国, プエルトリコ, 赤道ギニアではスペイン語が公用語となっている。	
使用文字	ラテン文字27字を用いる。英語と比べると Ñ (エニェ) の1字が多い。母音字の上に付ける補助記号が2種類ある: á, ü 正書法は非常に合理的で、完全にスペイン語化していない外来語を除くと規則どおりに読めばよい。	
基本構造	句内の語順	動詞句: 動詞 + (目的語), 名詞句: (限定詞) + 名詞 + (形容詞), 前置詞句: 前置詞 + (限定詞) + 名詞
	文の構造	文の基本的構造は「主語 + 動詞 + 補語」であるが、気象現象・存在などを表す動詞の構文では主語がない。主語は文頭に来ることが多いが、かなり位置が自由であり、心理動詞などは主語後置が原則である。また、主語が代名詞化されると普通は動詞の人称語尾によってのみ表示される。

言語の特徴	日本語と似た 5 母音体系で、母音で終わる開音節を好む傾向が強い。名詞は数変化のみ、形容詞は性と数により変化するが、どちらの屈折も規則的で単純である。人称代名詞のみ格変化がある。動詞は法、時制、人称・数により複雑に変化するが、フランス語・イタリア語に比べると不規則動詞は少ない。
-------	---

辞書・学習書

◎辞書

—西和辞典—

編著者	書名	出版社	出版年	ページ数
桑名一博（編）	『小学館西和中辞典』	小学館	1990	2079pp.
	見出し45,000語。意味の記述は訳語を多く示す方針である。用例が多く、基本語には語源の記述もある。巻末の付録的な部分が豊富で、関連語・専門語の囲み記事も多数挿入されているが、少々古くなった部分もある。1994年以前のアカデミア（スペイン王立学士院）の原則に従い ch と ll は独立の見出しになっている。			
宮城昇・山田善郎（編）	『現代スペイン語辞典（改訂版）』	白水社	1999	1524pp.
	見出し46,000語。昨年改訂版が出て、新語が加わった。語彙の選択と語義の記述は優れている。用例の多い学習辞典のタイプで、訳語は少なくして、用例により意味を把握させる方針である。本格的にスペイン語を学びたい人や実用目的なら『中辞典』か『現代』かということになる。			
Rubio, Carlos・上田博人（編）	『研究社新スペイン語辞典』	研究社	1992	1814pp.
	見出し37,000語。文例や図版が多く、発音表記にカタカナを併記するなど初心者向けの学習辞典らしい工夫がいろいろこらされている。ch と ll は独立の見出し。巻末には簡単な日本語索引が付いている。中級程度になると語数が不足で、実用目的には向かない。			
高橋正武（編）	『西和小辞典（二訂版）』	白水社	1981	513pp.
	見出し35,000語。デイリー・コンサイスのサイズで、携帯に便利。語数は比較的多いが、用例はほとんどない。ch と ll は独立の見出し。学習用には向かないが、上級者が持ち歩いて、ちょっと参照するのに適する。			
鼓 直（編）	『プログレッシブ・スペイン語辞典（第2版）』	小学館	2000	1037pp.

	見出し25,000語。巻末にミニ和西4,500語が載っている。初心者向けのコンパクトな辞典で、最近改訂された。2色刷で、読みやすい。発音表記にカタカナも併記。携帯には便利だが、中級程度になると、どうしても語彙が足りない。			
三好準之助（編）	『簡約スペイン語辞典』	大学書林	2000	879pp.
	見出し33,000語。プログレッシブよりもやや小型の携帯用辞典。巻末に和西索引約6,000語が載っている。2色刷で発音表記はカタカナのみ。基本語を除き用例はほとんどない。			
宮本博司（編）	『パスポート初級スペイン語辞典』	白水社	1997	399pp.
	見出し8,800語。巻末に和西索引が付いている。この他にもいくつか小辞典が出ているが、いずれも語数が少ないので、初級でも1冊だけで済ますのは無理である。			

—和西辞典—

編著者	書名	出版社	出版年	ページ数
宮城昇他（編）	『和西辞典（改訂版）』	白水社	2000	1443pp.
	見出し35,000語。昨年改訂版が出て、増補された。和西辞典は他にもあるが、今のところ学習用としても実用目的でも使用に耐える事実上唯一の和西辞典と言ってよい。			

◎学習書

入門書はとても挙げきれないほど多数あるので、店頭で実物を見て気に入ったものを選択するとよい。ただし、初歩で重要な発音についてカタカナの発音表記しかないような本は避けるのが無難である。また、著者が語学の専門家でない場合（時には専門家でも）不適切な発音の解説をしている場合があるので、独習者は本だけに頼らず実際の音を聞いて確認する必要がある。別売の録音カセットがあるものや最近ではCD付きのものも出ている。NHKのラジオ講座（月曜～土曜8.00、再放送13.40）とテレビ講座（水曜6.40、再放送金曜0.40）を利用することもできる。

中級以上の学習書や参考書になると、日本で出版されたものは極端に少なくなる。文法書としては次のものがある。

著者	書名	出版社	出版年
山田善郎他	『中級スペイン語文法』	白水社	1995年.
寺崎英樹	『スペイン語文法の構造』	大学書林	1998年.
高橋正武	『新スペイン広文典』	白水社	1967年.

学習機関

○スペイン語専攻課程を持つ大学

大学名（学部）	設置の区分	郵便番号	住所
一関東地方一			
東京外国語大学	国立	183-8534	東京都府中市朝日町3-11-1
神奈川大学（外国語学部）	私立	221-8686	横浜市神奈川区六角橋3-27-1
神田外語大学	私立	261-0014	千葉市美浜区若葉1-4-1
上智大学（外国語学部）	私立	102-8554	東京都千代田区紀尾井町7-1
清泉女子大学（文学部）	私立	141-8642	東京都品川区東五反田3-16-21
拓殖大学（外国語学部）	私立	193-0985	東京都八王子市舘町815-1
一中部地方一			
愛知県立大学（外国語学部）	公立	480-1198	愛知県長久手町大字熊張字茨ヶ廻間1522-3
常葉学園大学（外国語学部）	私立	428-0911	静岡市瀬名1-22-1
南山大学（外国語学部）	私立	466-8673	名古屋市昭和区山里町18
一近畿地方一			
大阪外国語大学	国立	562-8558	大阪府箕面市栗生間谷東8-1-1
神戸市外国語大学	公立	651-2187	神戸市西区学園東町9-1
英知大学（文学部）	私立	661-8530	兵庫県尼崎市若王寺2-18-1
関西外国語大学	私立	573-1001	大阪府枚方市北片鉾町16-1
京都外国語大学	私立	615-8558	京都市右京区西院笠目町6
京都産業大学（外国語学部）	私立	603-8555	京都市北区上賀茂本山
摂南大学（国際言語文化情報学部）	私立	572-8508	大阪府寝屋川市池田中町17-8
天理大学（国際文化学部）	私立	632-8510	奈良県天理市杣之内町1050
一九州地方一			
長崎外国語大学	私立	852-8065	長崎市横尾3-15-1

○スペイン語を専攻できるその他教育機関

首都圏と京阪神地区を中心に多数の語学学校が各種のスペイン語クラスを開講している。また、社会人向けの講座を開設している大学もある。

○スペイン語を選択科目として学べる大学

北海道から沖縄まで多数の大学で国公立・私立を問わず、語学科目としてスペイン語を開講しており、文科系の学部では（大学によっては理工系でも）選択可能である。数

が多いので全部を挙げることはできないが、たとえば東京都内で専任教員のいる大学としては亜細亜大、慶応大、駒沢大、専修大、昭和女子大、創価大、玉川大、中央大、東京大、東京工科大、日本大、法政大、立教大、早稲田大などがある。高校でも首都圏などでは自由選択科目としてスペイン語を開設している公立・私立の学校が最近増えている。

チェコ語 český jazyk, čeština 英 Czech

金指 久美子

概説

1. 分布と話者人口

チェコ語はチェコ共和国の公用語であり、国内で約 1000 万人によって使用されている。また、移民や亡命の結果、少数民族の言語として、オーストリア（主にウィーン）、ポーランド、ドイツ、ウクライナ、クロアチア（ダルヴァル地方）、ルーマニア（バナト地方）、カナダ、アメリカ合衆国でも話されている。その使用人口は合計 20 万人ほどになる、と言われる。そのうち最多の 9 万人がアメリカ合衆国にいる。彼らはニューヨーク、シカゴ、クリーヴランドのような都市部やテキサス、ウィスコンシン、ミネソタ、ネブラスカの農村部に居住している。その他、1993 年 1 月 1 日のチェコスロヴァキア解体後、スロヴァキア共和国には数万人のチェコ語の話し手がいる。

2. 系統

チェコ語はインド・ヨーロッパ語族のスラヴ語派に属す。すなわち、スラヴ祖語から分岐した言語である。この語派に属する言語のうち、公用語として用いられている言語は目下のところ 11 言語存在し、3 つの下位グループ（語群）に分類される。

東スラヴ語群：ロシア語、ベラルーシ語、ウクライナ語

西スラヴ語群：ポーランド語、チェコ語、スロヴァキア語

南スラヴ語群：スロヴェニア語、クロアチア語、セルビア語、マケドニア語、ブルガリア語

その他にもドイツ東部で話されている上ソルブ語、下ソルブ語など少数言語がいくつか存在する。

上記のように分類した場合、チェコ語は西スラヴ語群に入り、スロヴァキア語と最も近い関係にある。

3. 歴史

チェコ語の歴史はおおよそ以下のように区分される。

I. 古代チェコ語

- a) ～13 世紀末：チェコ語の始まりを正確に規定することはできない。この時期は、古代スラヴ語やラテン語の文献に見られるチェコ語的特徴を割り出したり、行間や余白になされたチェコ語訳や書き込みなどからどのような言語であったか推定されているにすぎない。現存する文献の数が少なく断片的なので、言語体系全体を把握することは難しい。
- b) 14 世紀：高度な文化を表現するためにさまざまな文体のヴァリエーションを備えた文章語としてチェコ語が発達した時期。このころ、同時期の他のスラヴ諸地域には見られないほどの多様で優れた文学が生まれた。
- c) 15 世紀：ヤン・フスの時代。文章語としてのみならず、民衆に直接語りかける説教のことばとしてチェコ語が用いられた。そのため、書きことばと話しことばの差が小さくなった。

II. 中世チェコ語

- a) 16 世紀～17 世紀初頭：人文主義の時代。この思想を伝え、知識人を養成するためにチェコ語が発達した。ラテン語の影響を最も強く受けた時期である。ことにシンタクス面で著しい。
- b) 17 世紀初頭～18 世紀末：いわゆる停滞期。ビーラー・ホラの戦い（1620）でハプスブルク家のカトリック勢力に敗れたことにより、ヤン・アモス・コメンスキーをはじめとする当時の知識人が亡命を余儀なくされ、学問や行政の場からチェコ語が用いられなくなった。

III. 近代チェコ語

- a) 18 世紀末～19 世紀半ば：民族意識の高まりとともにチェコ語はチェコ民族の象徴としてとらえられるようになった。そこで、標準語を定めようとする動きが起こった。この運動の先鞭をつけたのが、「スラヴ学の父」ヨゼフ・ドブロフスキーである。彼は、人文主義の時代のチェコ語を模範とし、コード化に臨んだ。その後も彼の後継者たちによって、標準語を豊かにしようとする努力が続いた。
- b) 19 世紀半ば～1918 年：近代チェコ語の定着期。チェコ語をとりまく社会的基盤が拡大し、教育や行政の場でチェコ語が用いられるようになった。チェコ語による出版活動も活発化する。チェコ語はチェコ社会の基本的な伝達手段となった。
- c) 1918 年～現在：国家語としてのチェコ語の発達期。1918 年、独立国家チェコスロヴァキアが成立した。これに伴い、軍事、法曹などかつてはドイツ語が用いられていた分野でチェコ語を用いることになったため、専門用語の整備が進められた。教育の結果、標準語がより広い社会層にまで浸透した。それと同時に実際の会話では非標準語体が用いられ、文学に影響を与えた。代表的なものが、ボヘミア地方の地域間方言

として生まれた共通語 (obecná čeština) である。近年は語彙面における英語をはじめとする外国語の影響が著しい。

4. 方言

チェコ語の方言は4つの主要方言グループに分類され、以下の地域に分布している。

I. ボヘミア方言グループ：この方言グループはチェコ西部のボヘミア地方に分布。しかし、国境に近い地域は混在地域として除外する。ここはかつてドイツ語の話者が居住し、第2次世界大戦後さまざまな地方からチェコ語の話者が移住してきたからである。

II. ハナー方言グループ：チェコ東部のモラヴィア地方の中でも、ボヘミア地方と接する中央モラヴィア及び西モラヴィア地方に分布。

III. モラヴィア・スロヴァキア方言グループ：東モラヴィア及び南東モラヴィア（ヴァラシュスコ地方とスロヴァーツコ地方）に分布。

IV. ラフ方言グループ：北東モラヴィア（シレジア地方）に分布。

ラフ方言グループのさらに北東、ポーランドとの国境近くには、鼻母音の存在をはじめとするポーランド語と共通の特徴が多く認められる地帯があり、ポーランド語・チェコ語混在地帯と呼ばれる。

それぞれの方言グループはさらに3つないし4つの下位グループに分類され、さまざまな特徴をもっている。しかし、方言グループの主要な特徴を提示するために12世紀以前の音 *ý* (i), *ú*, *aj* が現在どのような音に対応しているのかという基準を設定すると、以下のようになる。

古	I	II	III	IV
ý (i) 例	ej dobrej vozejk	é dobré vozék	ý (i) dobrý vozik	y (i) dobry vozik
ú 例	ou mouka	ó móka	ů můka	u muka
aj 例	ej dej	é dé	aj daj	aj daj

5. 使用文字

ラテン文字を基本とし、原則として1つの文字が1つの音を表す。いくつかの文字の上には補助記号がつくので、全部で42個の文字を使用してチェコ語を書き表す。補助記号には´、°、ˇの3種類がある。

´は母音を表す文字 (a, e, i, y, o, u) の上にのみつき、その母音が長く発音されることを表す。

°はuの上にしかつかず、uが長く発音されることを表す。つまり、úとůには発音上の区別は全くなく、これら2つの文字は位置によって書き分ける。úは語頭で、ůは語中、語末で書く。úが語中に現れることもあるが、接頭辞がつく場合に限られる。

ˇは1つの母音を表す文字 (e) と、7つの子音を表す文字 (c, d, n, r, s, t, z) の上につく。しかし、dˇ, tˇは印刷上 d', t' で代用される。

6. 基本構造

1) アクセント

アクセントの種類は強弱アクセントで、第1音節にアクセントがおかれるのが原則である。

2) 母音

短母音と長母音の5つずつ、合計10個存在する。日本人にとってのおおよその発音

の目安を文字とともに挙げる。a / á:「ア」／「アー」、e / é:「エ」／「エー」、i, y / í, ý:唇を左右に引っ張った「イ」／「イー」、u / ú, û:唇を突き出した「ウ」／「ウー」、o / ó:「オ」／「オー」。

3) 子音

子音の音素の数は27である。そのうち、d z (舌先を歯の裏にあててだす「ヅ」)及び dž (舌先を歯の裏にあててだす「ヂュ」)と表される音はそれぞれ文字 c (「ツ」)、č (「チュ」)で表される音の次に有声子音がくるときの同化の結果現れることが多い。そのため、これらの音は独立した音素と見なされないことがある。日本人にとって一番発音の難しい音は恐らく ř で表される音であろう。これは巻き舌の「ル」と舌先を歯の裏にあてないで発音する「ジュ」を同時に発音する。位置によっては巻き舌の「ル」と「シュ」を同時に発音する。この音以外の個々の発音はそれほど難しくない(はずである)。しかし、子音が3つ、ないし4つ連続する場合が珍しくないので、語や文の発音は注意を要する。

4) 文法の特徴

スラヴ語派に属する他の多くの言語と同様、語形変化が豊かである。つまり、新しい語を覚える時には、辞書に載っている形と意味だけを覚えたのでは不充分である。その語がどのような型の変化をする語か、ということを把握し、その語に文中でどのような役割を与えるつもりか(例えば、間接目的として用いる、主語が1人称単数であることを受けて現在時制で用いる、等)をはっきり決めないと文が作れない。逆に言えば、チェコ語の文を構成する語の多くが語尾によって文中の役割と所属する変化型に関する情報を発信している。

では、チェコ語にはどのような語形変化のパターンが存在しているのだろうか。名詞には文法性が3種類(男性、女性、中性)あるが、それぞれの文法性のグループがいくつかの変化型をもっているので、規則的な変化型の数は14である。そして各変化型は2種類の数(単数、複数)を区別し、7つの格をもつ。つまり、1つの語がのべ14個の格語尾をもっていることになる。形容詞は名詞の性、数、格にあわせて変化する。代名詞と数詞にも格変化がある。動詞には、時制(過去、現在、未来)や法(直説法、命令法、条件法)、態(能動態、受動態)というカテゴリーがある。これらのカテゴリーにおいて、動作主の人称(1人称、2人称、3人称)や数(単数、複数)、時には文法性(男性、女性、中性)にあわせてさまざまに形を変える。動詞は、もう1つ、アスペクトというカテゴリーをもつ。これは、動作を継続した線ととらえているのか(不完了体)、起点あるいは終点に着目してとらえているのか(完了体)という区別である。原則として、1つの動詞はどちらかの体に属す。

5) 語順

「文法の特徴」で述べたように、文中での語の文法的役割は、もっぱら語形によって表される。そのため、語順を変えてもそれぞれの語の役割は変わらない。主語はどの位置にあらうと主語である。そのかわり語順は「伝達上の価値」と密接に関連している。すなわち、話し手あるいは書き手の一番伝えたい語が文末に置かれる傾向が強い。

K a r e l b y d l í v P r a z e . ← K d e b y d l í K a r e l ?
 カレルはプラハに住んでいます。 カレルはどこに住んでいますか？
 V P r a z e b y d l í K a r e l . ← K d o b y d l í v P r a z e ?
 プラハに住んでいるのはカレルです。 誰がプラハに住んでいるのですか？

このように、チェコ語の語順は伝達上の価値に応じてかなり自由に変わることができ、文のニュアンスに変化を加えられる。しかし、文頭から二番目に優先して置かれる語も存在する。ここは伝達上の価値が一番低い位置とされているため、それ自身アクセントをもたない語(エンクリティック)が来る。例えば、人称代名詞や再帰代名詞の短形(tě, ti, ho, se, si...) や過去時制を表す時の補助動詞として用いられるbýtの人称変化などである。

言語情報ページ

言語名	チェコ語 český jazyk, čeština 英 C z e c h
主な使用地域	チェコ共和国
話者人口	約 1000 万人
公用語として用いる国	チェコ共和国
使用文字	ラテン文字、いくつかの文字の上には補助記号がつく

辞書・学習書ページ

辞書

書名	著者	出版社	出版年
『現代チェコ語日本語辞典』	小林正成・桑原文子編	大学書林	2001年

教科書 難易度順に紹介する。

書名	著者	出版社	出版年
『エクスプレスチェコ語 (新稿版)』 (入門)	保川亜矢子著	白水社	1997 年
『チェコ語の入門』(入門・初級)	千野栄一・千野ズデ ンカ共著	白水社	1975 年
『チェコ語初級』(初級・中級)	石川達夫著	大学書林	1992 年
『チェコ語中級』(中級・上級)	石川達夫著	大学書林	1996 年

参考書 (会話集他)

書名	著者	出版社	出版年
『チェコ語会話練習帳』(初級)	金指久美子編	大学書林	2000 年
『標準チェコ会話』(初級・中級)	保川亜矢子著	白水社	1991 年
『チェコ語基礎 1500 語』(初級)	金指久美子編	大学書林	1998 年

学習機関ページ

専攻語学として学べる大学

名称	郵便番号	住所	代表電話番号
東京外国語大学	183-8534	東京都府中市朝日町 3-11-1	042-330-5111

チェコ語を学べる語学学校

名称	郵便番号	住所	代表電話番号
朝日カルチャーセンター	160-0023	新宿区西新宿新宿住友ビ ル私書箱 22 号	03-3344-1941
大学書林国際語学アカデ ミー (D I L A)	102-0085	千代田区六番町 9	03-3264-2131
日本チェコ協会主催チェ コ語講座	169-0075	新宿区高田馬場 4-40-13 双秀ビル 402 号	03-3360-0600 (月水金 午前 11 時～午後 5 時)
マヤコフスキー学院		中野区東中野 1-41-5 新 日本文学会内	03-3362-8771

ドイツ語(Deutsch, 英 German)

在間 進

概説

1. 言語名

ドイツ語, Deutsch, German

2. 基本構造

2. 1. 母音・子音

☆発音

ある学者が言語を北方系と南方系に分け、それらの発生に関して次のように述べていた：南方は生活が豊かであるため、言語は旅する騎士と村の娘との泉での出会いから生じた。その際、男は優しく語りかけ、女ははじらいを持って答えるため、言葉が柔らかくて甘くなった。それに対して、北方は生活が貧しいため、言語は農作業上の必要性から生じた。その際、外の気候が非常に寒いため、男女ともに口を上下にしっかりと動かさなければならず、言葉がきつくて泥臭くなった。――これは学説というよりはいわば「お話」の類（たぐい）ではあるが、ドイツ語は、ドイツがカラフトと同じ緯度に位置することから分かるように、明らかに上記の「北方系」言語の特徴を備えている。ドイツ語の発音は、「ア」の音ははっきり「ア」、「イ」の音ははっきり「イ」と、とにかくすべての音がはっきりしていて力強いことを特徴とする。

2. 2. 構文／語順

2. 2. 1. ドイツ語の文型

ドイツ語の文型は、動詞がどのような補足成分を持つのかによってが分類されるが、以下に、重要なもののみを示す。

a. 主語 + 動詞

Das Faß rollt. タルが転がる。

Das Kind schreit. 子供が叫ぶ。

b. 主語 + 動詞 + 述語

Der Lehrer ist krank. 先生は病気だ。

Das Eis wird wieder zu Wasser. 氷が水になる。

c. 主語 + 動詞 + 副詞類〔場所など〕

Er fährt nach Berlin. 彼はベルリンに行く。

Der Arzt wohnt in Köln.

d. 主語+動詞+目的語

Er klopft an die Tür. 彼はドアをたたく。

Er winke dem Mädchen. 彼は少女に合図をおくる。

Er schiebt den Kinderwagen. 彼は乳母車を押す。

e. 主語 + 動詞 + 目的語 + 目的語

Sie vermietet dem Studenten eine Wohnung.

Er fragte ihn nach seinem Namen.

f. 主語 + 動詞 + 目的語 + 副詞類

Er legt das Buch auf den Tisch.

Er dankt dem Schüler für die Hilfe.

g. 主語 + 動詞 + 目的語 + 目的語的述語

Er trägt das Haar kurz. 彼は髪を短くしている。

Er schleift das Messer scharf. 彼はナイフを鋭利に研ぐ。

Er nannte die Frau eine gute Arbeiterin.

彼はその女性を仕事のよく出来る人と呼んだ。

2. 2. 2. 語順、特に動詞の位置

ドイツ語の語順の、最も重要な規則は、定動詞および動詞の補助成分（たとえば過去分詞、分離前つづりなど）の位置である。定動詞は原則として、決定疑問文の場合は文頭、平叙文の場合は第2位、副文の場合は文末に置かれ、また、動詞の補助成分は、文末あるいは定動詞の直前に置かれる。すなわち、定動詞および動詞の補助成分には「文頭」「第2位」「文末」あるいは「直前」というような「順番」が与えられる（したがって、定動詞、動詞の補助成分、接続詞などは文の構造において一種の「枠（＝枠構造）」を形成する）。

文頭	第2位		直前	文末
Heute	hat	er ein Buch ...		gekauft.
Warum	hat	er ein Buch ...		gekauft?
Hat	er	ein Buch ...		gekauft?
als	er	ein Buch ...	gekauft	hat

日本語の場合は、文法的規則として文頭に何を置くべきかが問題になることはない。問題になるとしたら、文末に何を置くかであろう。また、英語の場合は、文法的規則として文末に何を置くかが問題になることはない。問題になるとしたら、文頭に何を置くかであろう。これに反し、ドイツ語の場合は、第2位に何を置くのか、文頭に何を置くのか、そして文末（あるいはその直前）に何を置くのかということが常に重要な問題になる。

3. 使用文字（正書法）

1998年8月からドイツ語の「新正書法」が施行された。従来の正書法は、2005年までの移行期間を経た後、廃止される。この変更によって一番大きく変わる場所は、ßとssの使い分けであろう。従来の正書法では、先行する母音が単母音の場合、後続する母音の有無によって使い分けられていたが、

Fluß	川	Flüsse	（複数形；後ろに母音が付加されたため）
fassen	つかむ	faßte	（過去形；後ろの母音が削除されたため）

「新正書法」では先行する母音のみが判断基準となる。すなわち、先行する母音が長母音または二重母音の場合ßと綴り、短母音の場合にはssと綴る。その結果、変化形にも、同一の綴りを用いることが可能になる。

Fluss → Flüsse
fassen → fasste

なお、接続詞の daß も、先行する母音が短いため、dass と綴られる。

4. 話者人口

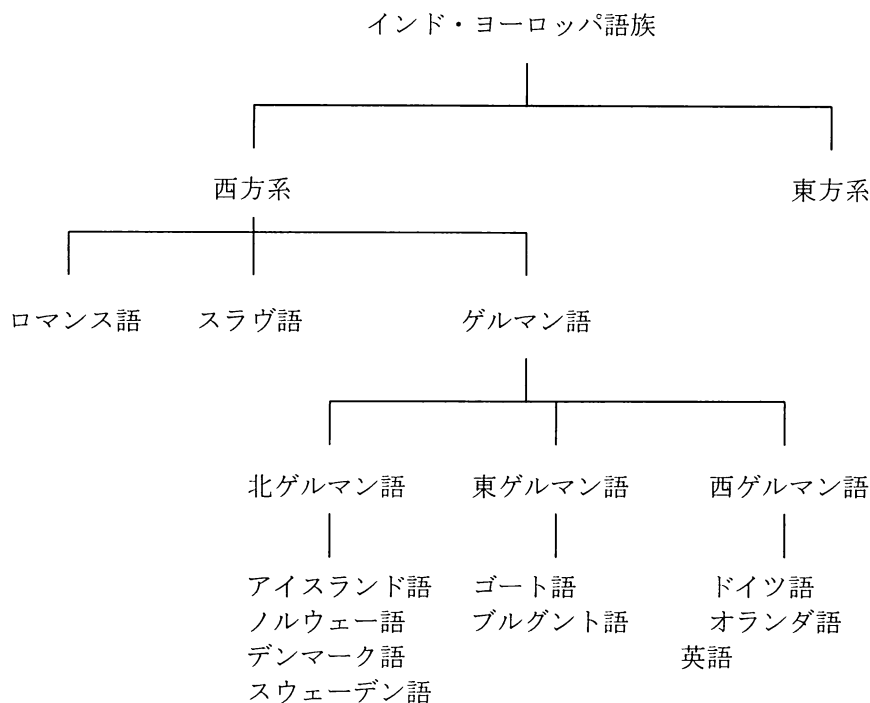
ドイツ語の使用人口は世界全体で約 1 億 1 千万人、世界第 9 位で、日本語とほぼ同じである。ヨーロッパ地域だけに限った場合、その数は約 9 千 2 百万人で、ロシア語の 1 億百万人につづいてヨーロッパの言語のなかでは第 2 位とされている。したがって、ドイツ語は英語、フランス語、イタリア語よりも使用人口の多い重要な言語ということになる。

5. 使用地域

ドイツ語は、ドイツ、すなわち「ドイツ連邦共和国 (Bundesrepublik Deutschland)」の他にも、オーストリアをはじめ、スイス、ベルギー、ルクセンブルク、リヒテンシュタインで公用語として用いられ、また、ドイツと国境を接するフランスのアルザス地方、イタリアのチロル地方、チェコのベーメン地方でも話される（ドイツ語の話されるこれらの地域を総称して「ドイツ語圏」と言うことがある）。なお、アメリカ合衆国、カナダ、南米、オーストラリアにもドイツ語を話すグループが存在し、また、イタリア、旧ユーゴ、トルコ、ギリシャなどには「外人労働者」としてドイツに出稼ぎに来ていた人が多くいるため、ドイツ語がかなりの範囲で通じる。

6. 系統

ドイツ語は、表 1 に見るように、インド・ヨーロッパ語族のゲルマン系言語の一つで、英語とはきわめて近い関係にある。



したがって、発音の仕方は当然異なるが、英語とドイツ語の間には形態の非常によく似た単語が多くある。

Arm	腕	—	arm	Ball	ボール	—	ball
アルム				バル			
Finger	指	—	finger	Gold	金	—	gold
フィンガー				ゴルト			
Hand	手	—	hand	Name	名前	—	name
ハント				ナーメ			
Sand	砂	—	sand	Wind	風	—	wind
ザント				ヴィント			

ドイツ語と英語の綴りの対応に関して、たとえばドイツ語の z が英語の t に、ドイツ語の t が英語の d に対応するなどのように、規則をいくつか立てることもできるが、しかし、これらの対応にはすでに例外も多く、語学学習という観点から考えた場合、覚えてもあまり役に立たないものになっている。

salt	塩	—	Salz	heart	心臓	—	Herz
			ザルツ				ヘルツ
bed	ベッド	—	Bett	garden	庭	—	Garten
			ベット				ガルテン

7. ドイツ語の特徴

☆リズム

ドイツ語のリズムの原理は「強弱強弱」の繰り返しである。

次のような文法細則も弱アクセントの連続を嫌うというドイツ語のリズム上の原理に基づくものである。

- (1) 不定詞の語尾は本来 trink·en「飲む」のように -en であるが、語幹がアクセントのない e 音で終わる動詞の場合、不定詞の語尾が -n になる（たとえば lächeln「ほほえむ」）。これは、不定詞の語尾として -en を付加すると、lächelen [レ・ヒェ・レン] のように、弱アクセントの e が連続してしまうからである。
- (2) 男性・中性名詞の単数 2 格語尾に -es と -s の 2 つがあるが、語幹が弱アクセントの e で終わる名詞（たとえば Lehrer「先生」）の場合、-es を付加することが出来ない。これは、2 格語尾として -es を付加すると、Lehreres [レー・レ・ス] のように弱アクセントの e が連続してしまうからである。
- (3) 所有冠詞 unser/euer に格語尾が付く場合ふつう語幹または語尾の e を省く：

unser·es (2 格) → unsers/unsres

unser·em (3 格) → unserm/unsrem

これも、格語尾を付加すると、弱アクセントの e が連続してしまうからである。

- (4) be·, emp·, ent·, er·, ge·, ver·, zer· などの非分離前つづりを持つ複合動詞は過去分詞に ge· を付けない。これも、語頭にアクセントのない ge· を付加すると、

× ge·be·sucht [ゲ・ベ・ズーホト]

のように、弱アクセントの e が連続してしまうからである。

なお、複数語尾の -en 式にふつう Insel「島」のように -n のみをつける語も含めるが、これは、-n のみを付加する語も本来 -en が付加され (Insel·en [イン・ゼ・レン])、その後、弱アクセントの連続を嫌うというドイツ語の原理に基づいて語尾の e が落とされた (Inseln) と考えるからである。

☆補足成分と添加成分

ドイツ語では、動詞を用いる場合、省略できない語句と省略できる語句が文法的に決まっている。たとえば、他動詞 kennen を用いる場合、次例の a 文から副詞類 (seit drei Jahren) を省いた b 文は正しいが、主語や目的語を省いた c 文、d 文は間違いである (* 印は文法的に正しくないことを示す)。

- (5) a. Seit drei Jahren kenne ich Herrn Schmidt.

3 年前から私はシュミットさんを知っている。

- b. Ich kenne Herrn Schmidt.

3 年前から私はシュミットさんを知っている。

- c. *Seit drei Jahren kenne ihn.

3 年前から彼を知っています。

- d. *Sei drei Jahren kenne ich.

3 年前から私は知っています。

ドイツ語では、省略できない語句を補足成分、省略できる語句を添加成分と呼ぶが、動詞を正しく使用するためにはそれぞれの動詞においてどのような語句が補足成分であるかを知らなければならない。最近の独和辞典では語義説明に先立って《…の語句と》のように、それぞれの動詞に補足成分を表示する傾向になっている。

辞書・学習書情報ページ

辞書

独和辞典も最近続々と学習辞典が出版されるようになった。次に、比較的新しいものに限定して挙げる（6からは10万語を越えるもの）。

	書名	出版社	出版年
1	アクセス独和辞典	三修社	1999
2	プログレッシヴ独和辞典	小学館	1994
3	新アポロン独和辞典	同学社	2000
4	マイスター独和辞典	大修館	1992
5	クラウン独和辞典	三省堂	1990
6	独和広辞林	三修社	1986
7	郁文堂独和辞典（第2版）	郁文堂	1997
8	小学館独和大辞典	小学館	1985

なお、拙著「キャンパス独和辞典」（1995；郁文堂）、「エクセル独和辞典」（2000；郁文堂）は、実用的観点から「読む独和辞典」を目差し、基本的な語彙と用例を中心に編纂したものである。

参考書

数多くあるドイツ語初級文法書の説明は省く。

初級文法を学び終えた人がさらにドイツ語を学ぶための参考書

（3から6までは訳書。3は4の簡易版）。

	書名	著者	出版社	出版年
1	<詳解>ドイツ語文法	在間進	大修館	1992
2	詳解ドイツ大文法	橋本文夫	三修社	1963
3	ドイツ語ハンドブック	ヘルビヒ／ブッシャ	第三書房	1994
4	現代ドイツ文法	ヘルビヒ／ブッシャ	三修社	1991
5	現代ドイツ文法の解説	ヘンツェル／ヴァイト	同学社	1994
6	ドイツ語の構造	フォックス	三省堂	1993

読み物的にドイツ語を学べるもの

書名	著者	出版社	出版年
はじめてのドイツ語	福本義憲	講談社新書	1991
ドイツ語ことばの小径	新田春夫	大修館	1993
匙はウサギの耳なりきくドイツ語源学への招待>	石川光庸	白水社	1993

個別的な文法問題などに興味を持たれる方

書名	著者	出版社	出版年
ドイツ語の疑問に答える 201 章	真鍋良一	三修社	1976
ドイツ文法・疑問の解明	ベルガー・橋本・藤田・ 佐伯・鉄野	三修社	1990
日独語対照研究	浜崎・乙政・野入	大学書林	1985
ドイツ語学講座	有田潤	南江堂	1985・ 1994

現代ドイツ語よりも少し古い時代のドイツ語

書名	著者	出版社	出版年
初期新高ドイツ語	工藤・藤代	大学書林	1992

学習機関情報

名称	郵便番号	住所	電話番号
ゲーテ・インスティトゥート	107-0052	東京都港区赤坂 7-5-56 ドイツ文化会館内	03-3584-3201

ビルマ語（ミャンマー語）

(Myanmar Badha-zaga, 英：Myanmar Language)

奥平 龍二

概説

1. 言語名

東南アジアの最西端に位置するミャンマー連邦は、現政権によれば、大小135種もの民族からなる、いわゆる多民族国家であるが、その最大多数派である「ビルマ」族が使用する言語が、邦語で「ビルマ語」（または、ミャンマー語）、原語で Myanmar-badhazaga (Myanmar zaga)、英語で、Myanmar language と呼ばれる言語である。
(註)

(註) 1989年6月、ビルマ政府は、1948年1月4日の同国の独立以来、国名の方語名である「ピーダウンズウ・ミャンマー・ナインガン・ドー (Pyidaung-zu. Myanma Nainggan-daw) の対外呼称である Union of Burma を Union of Myanmar に、また、その言語および民族名も Burmese/Burman から Myanmar に改める旨公表した。また、同時に、原語と対外呼称の2本立てになって使用されてきた管区・州、都市、河川、地名、道などの呼称も全て、原語呼称に統一する（例：ヤンゴンとラングーンをヤンゴンに統一）旨発表した。この措置に対し、日本政府は、国名を従来の「ビルマ連邦」から「ミャンマー連邦」に改称した。本稿では、国名を原語名の音読みに従って「ミャンマー（連邦）」とし、また、多民族国家であることを考慮して、その最大多数派の民族名を、原語の「バマー」(Bama) に対応させて「ビルマ族（人）」、その母語を「ビルマ語」と呼称することとする。

2. 系統

ビルマ語は、東南アジアの言語系統の大きな流れの一つであるシナ・チベット語族の中のチベット・ビルマ諸語に属し、中国雲南地方のロロ語などと共に、ロロ・ビル

マ語群として分類されている。このうち、ビルマ語群は、ビルマ語とマル語・ラシ語・アツィ語の二つのグループに分けられる。

3. 使用地域

ミャンマー連邦は、先に述べたとおり、多民族によって構成される国家である。現在、最大多数派のビルマ族が主として居住する、エーヤーワディー（イラワジ）川流域を中心とするビルマ本州（7つの管区よりなる）と、カチン、カヤー、カイン（カレン）、チン、モン、ラカイン（ヤカイン）およびシャンの各少数民族に割り当てられた主として丘陵地域の7つの州をもって構成されている。また、人口構成比は、多数派民族のビルマ族が全人口の約70%、他の少数民族が併せて約30%である。一般論として云えば、ビルマ族は、母語であるビルマ語を話し、他の少数民族は、それぞれの母語を話し、ビルマ語は第2言語である。しかし、実際には、状況は複雑であり、特に、1948年1月の独立以来、歴代政府、とりわけ、62年3月成立したネー・ウイン政権下で、政府・官公庁や学校教育で公的にビルマ語が使用されるようになった結果、ビルマ語は少数民族の母語に大きな影響を与え、その通用力と範囲が少数民族の居住する地域にまで年々拡大されてきている。

4. 話者人口

ビルマ語の通用範囲は、3.で述べた通り、ビルマ語を第2言語として使用する少数民族の間で、年々、地域的に拡大し、人口的に増加している。また、彼らの間で世代の交代もあり、少数民族言語とビルマ語が共に母語、あるいは、生まれながらにしてビルマ語が母語である者も増加傾向にあり、将来的には、少数民族言語が消滅の危機にさらされはじめている。いずれにせよ、公式の統計はないが、現在、ビルマ語の通用力は、母語話者人口がビルマ族のみならず、少数民族にも広がりを見せ、第二言語の話者人口を加えると、総人口4、660万人（1997年度ミャンマー政府推計）の90%程度に達しているものと推定される。

5. 言語をめぐる歴史

ビルマ語の歴史は、文字文化の面からみると、大きく、3段階に分けることができる。その第1期は、11世紀の前半に始まり13世紀末に至るパガン統一王朝時代である。インドやスリランカの高度な宗教文化を受容し独自の文化を築いていた先住

民族モン族の文字を概ね踏襲してビルマ文字を考案した。また、この時代に、ビルマ南部モン族の国家タトンで興隆していた上座仏教がパガンに導入され、その聖典用語であるパーリ語が、ビルマ語の語彙、文法、辞典などに計り知れないほど大きな影響を与えた。第2期は、英国との3度の戦争に敗れて、1885年以降、ミャンマー全土が英国の植民地支配下に置かれてから1948年独立するまで60年余り、ミャンマーでは、英語が普及し、また、この間、1942-45年の3年間の日本軍占領期には、短期間ではあったが、日本語も通用し、ビルマ語の後退期であった。第3期は、独立後、とくに、62年3月～88年8月のネー・ウイン政権、および88年9月に登場した現政権下での文化の「ビルマ化」政策によるビルマ語中心の時代である。

ビルマ語は、1974年の社会主義憲法（現政権下で、建て前上は、停止されているが、実質的には大半の条項が有効と考えられる）第152条で、「共通語」（Amya·thoun·zaga: その公式英訳語は Common language）と定めているほか、「他の民族言語も教えることができる」と規定している。しかし、実際には、ビルマ語は、政府・官公庁では、「公用語」に準じた地位が与えられており、逆に、少数民族言語が使用されることはない。その意味で、憲法の規定は、むしろ、74年憲法下で、少数民族に対し自治権の賦与されない名目的な7つの民族州が設置されたのと同様、多分に、少数民族言語に対する一定の配慮を行ったものと考えられる。

6. 言語に関する状況（方言、地方語、その他言語にまつわる文化的背景など）

ビルマ語には、古くから方言が存在する。中央平野部のヤンゴン（ラングーン）・マンドレー、西南部のラカイン（ヤカイン）、東南部のダウエー（ダヴォイ）およびベイツ（メルギー）、東部のインダー、ダヌ、およびタウンヨーと西部のヨーなどの8つの方言が知られている。

先に述べた通り、ビルマ語は、「共通語」の地位を占めている。憲法では、多民族国家への配慮から、ビルマ語に対して「公用語」（Official Language）という表現は用いられず、また、少数民族言語で教育することが認められているが、実質的には、ビルマ語だけが政府、官公庁の「公用語」であり、また、学校での「教育言語」としての地位にある。これに対して、少数民族言語は74年3月の社会主義政権下で、カイン（カレン）、モンなどの少数民族言語による国定の初等科用教科書が出版され、これらの地域で部分的に使用されてきた模様であるが、現状は定かでない。

ビルマ語は、古くから、インドやスリランカの文字文化を受容したため、サンスクリット語やパーリ語の借用語が多い。とりわけ、スリランカから、パーリ語を聖典用語とする南方上座仏教を受容したため、パーリ語源の語彙を豊富に有しているほか、

モン語からの借用語が多く認められる。このほか、歴史的に長い交流のあるシャン語、植民地時代以降の英語をはじめ、インド諸語（ベンガル語、ヒンディー語など）、中国語などからの借用語も少なくない。

7. 使用文字（正書法）

年代の明らかな現存最古のビルマ語文献は、グービャウッチー碑文（1112年制作、通称ミャゼーディー碑文として名高い）であり、このことから、もともと文字をもたなかったビルマ語が少なくとも12世紀初頭には文字化されたと考えられている。ビルマ文字は、インド系諸文字の起源とされるブラフミー文字から派生した南インドのパッラヴァ（Pallava）文字を改作して考案されたモン文字をほぼ全面的に借用したものである。

ビルマ文字は、33の基本文字（字母）の第29番目（第6段目の左から4つ目）にあたる「ワァ」（wa.）を基調としている。言い換えれば、全てのビルマ語の基本文字は「ワァ」、すなわち、円そのものの変形であるとみなすことができよう。従って、ビルマ語の字母表の文字を覚える時は、まず、「ワァ」を正確に書くことから始まる。

ビルマでは、「書く時は正しい綴字で、読む時は発音通りに」（ye:do. əhman, hpa? to. əthan）と云う格言があり、伝統的に、正書法が重視され、「綴字法典」（Tha?·poun Kyan:）がしばしば編まれてきた。現代ビルマ語の正書法については、1971年に結成された「ビルマ語委員会」（Myanmaza Kawmashin）が75年に、教育省直属の「ビルマ語協会」（Myanmaza Ahpwe.）と改称後開始した『ビルマ語辞典』編纂事業の一環として、政府がビルマ語の正書法に本格的に取り組んだ。78年の第1巻にはじまり80年まで第5巻をもって完成した『要約ビルマ語辞典』について、同協会が、86年、『ビルマ語綴字法典』（Myanma Saloun:·baun: Tha?·poun Kyan:）の初版本を発行し、国家事業として、標準的なビルマ語正書法を提示した。

8. 音声と音韻

（1）母音

ビルマ語の単語を構成する音節は、核になる字母（頭子音）を中心に、その上下左右に、母音符合、介子音符合、末子音符合および声調符合を付して表記する。

ビルマ語の母音は、舌の先端の位置によって、前舌（i, e, ε）、中舌（aの軽声音ə）、および奥舌（o, ɔ, u）の7種に分けられる。また、舌の高さによって、高母音（i, u）、中母音（e, o, ε, ɔ）と低母音（a）に分けられる。これに加えて二重母音（ai, ei, ou,

au) がある。

(2) 子音

ビルマ語の子音は、頭子音（字母）、介子音（h, y, w）および、鼻音（n）と声門閉鎖音（ʔ）からなる末子音（子音で終わる音節）の3種類がある。介子音は、頭子音と母音の間に介在する子音であり、末子音には、(an, aʔ, /ain, aiʔ/aun, auʔ/ein, ʔ/oun, ouʔ/un, uʔ) がある。

(3) 声調と軽声化

ビルマ語はいわゆる「声調言語」であり、降声、平声、抑声、および促声という四声と軽声を持つ。ただし、ビルマ語の場合、文章として音読されたり、会話が行われたりする場合、「軽声化」と「連声」が起る。すなわち、各単語が持つ本来の声調パターンが後続の単語に影響されて変化が起り、高低アクセントが滑らかになる。

(4) 有声化（連濁）ビルマ語では、音節が連続する時、通常、日本語の連濁のように、「有声化」現象（例：htəmin:[御飯]+hsain[店]=htəmin-zain[レストラン]）が起る。また、声調パターンのうち、第4声調（促音）の後に続く音節は、原則として「有声化」しない（例：saouʔ[本]+hsain[店]=saouʔ-hsain[書店]）。

(5) 音節構造

ビルマ語は、シナ・チベット語に共通する単音節語を基本とするが、パーリ語やサンスクリット語などの外来語を多く受容したため、多音節語も存在する。音節構造は、母音で終わる開音節と子音で終わる閉音節とからなる。

(6) 音素目録

ビルマ語の場合、音素の恒常的な単位である音素には、p, hp, b, m, t, d, t, ht, d, n, k, hk, g, ng, ʔ, c, hc, j, ny, hn, s, hs, z, l, hl, y, hy, w, hw, rなどの子音音素と、a, e, i, o, u, ei, ou, ai, au（以上、口母音）とan, in, un, ein, oun, oun, ain, aun（以上、鼻母音）の2つの系列からなる母音音素がある。

9. 言語の構造的特徴

ビルマ語の品詞は、それ自身で意味を持つ「自立語」と、自立語に付いて機能する「付属語」とからなる。自立語には、名詞、動詞、形容詞、副詞などがあり、付属語には助詞や助動詞がある。さらに、ビルマ語の品詞は、形容詞や副詞を動詞に含めれば、名詞類、動詞類および助詞類の3つに大別することもできよう。また、ビルマ語では、若干の接頭辞を除き、自立語に付属語が従属すると句や節が形づくられる。

ビルマ語の統語法は、語順と格助詞により決まる。語順は、S+O+V（主語＋目的語＋動詞）で日本語と同じである。ただし、否定文や禁止文などの語順は否定詞が動

詞の前に付けられ、日本語と異なる。また、ビルマ語文を大別すると、名詞文と動詞文の2種類に分けられる。名詞(N)と動詞(V)の語構成は、前者は、N, N+N, V+N, N+VおよびN+V+Nの5種に分類できる。また、後者は、V、V+V(複合動詞)、V(挿入動詞)+V(主動詞)、N+V(成句動詞)、V+V(補助動詞)などの種類がある。

ビルマ語は、15～16世紀のインワ時代にはじまる古典文学作品の発達過程で、正書法の整備に伴い成立したと考えられているが、他方で、歴史的に言文一致の運動が極めて不活発であったこともあって、話し言葉(口語体)と書き言葉(文語体)の落差が大きい言語である。その違いは、主として文体上のことで、基本的には、日本語の「です/ます」調と「である」調のような終助詞のほか、指示代名詞、助詞、副詞、接続詞などの品詞において見られる。また、口語体が形式ばらない会話表現であるのに対して、文語体が格式ばった文章表現や熟語表現、あるいは、パーリ語やサンスクリット語源の格式高い文化用語を用いることなどである。

写真

1. ミャゼーディー(グービャウッチー)碑文の写真1点
年代の明らかな現存最古のビルマ語文献[西暦1112年制作]
2. 現代の風景からビルマ文字が写し出されている写真1点

言語情報データ

言語名	ビルマ語(ミャンマー語)(Myanmar Bada-zaga, 対外呼称 Myanmar Language)
系統	シナ・チベット語族
使用地域	ミャンマー連邦
話者人口	人口4,660万人(1997年度ミャンマー政府推計)の70%以上の母語話者と第2言語の話者を加え、約90%[非公式推定]
公用語として用いる国	ミャンマー連邦[1974年憲法で、ビルマ語はミャンマー連邦の「共通語」(Common Language)と規定。実質的には「公用語」]

	の地位]
教育言語として用いる国	ミャンマー連邦
使用文字	南インドのパッラヴァ(Pallava)文字を改作し考案されたモン文字を概ね借用
使用地域における他の言語	カチン、カヤー、カイン(カレン)、チン、モン、ラカイン(ヤカイン)、シャンなどの少数民族の言語、インド諸語、中国語など

辞書・学習書一覧

◎辞書

書名	著者	出版社	出版年
『ビルマ語辞典』	原田正春・大野徹編	日本ビルマ文化協会	1979 (1990 改訂版)
『模範緬華大辞典』 東洋文庫復刻版	陳孺性編	汲古書院	1969
<i>Judson's Burmese English Dictionary</i> (復刻版)	A. Judson, D.D.	穂高書店	1989
『日本語・ビルマ語辞典』	大野 徹編	大学書林	1995
『ビルマ語・日本語辞典』	大野 徹編	大学書林	2000

◎語彙集

書名	著者	出版社	出版年
『ビルマ語基礎 1500 語』	大野 徹	大学書林	1980
『日本語漢字入門—ビルマ語版—』	国際交流基金編	凡人社	1981
『ビルマ語常用 6000 語』	大野 徹	大学書林	1984
『法廷通訳ハンドブック：ミ	最高裁判所事務総局刑事	法曹会	1994

ヤンマー語』	局監修		
『法律用語対訳集—ミャンマー語編』	法務省刑事局外国法令研究会編	社団法人商事法務研究会	1996

◎語学書

書名	著者	出版社	出版年
『ビルマ語入門』	原田正春著	江南書院	1958
『基礎ビルマ語』	原田正春著	大学書林	1966
Bama-zaga Pyo-ni (“ビルマ語の話し方”)	大野 徹著	日本ビルマ文化協会	1972
『ビルマ語会話』	日本ビルマ協会編	日本ビルマ協会	1973
『現代ビルマ語入門』	大野 徹編	泰流社	1982
『英語対照ビルマ語会話』(テープ付)	大野 徹著	大学書林	1982
『ビルマ語会話練習帳』	藪 司郎著	大学書林	1982
『ビルマ語四週間』	大野 徹著	大学書林	1987
『やさしいビルマ語読本』	大野 徹著	大学書林	1990
『エクスプレス ビルマ語』(テープ付)	加藤昌彦著	白水社	1998

◎語学関係参考図書

書名	著者	出版社	出版年
「ビルマ語」 『東南アジア大陸の言語』	大野 徹	大学書林	1987
「ビルマ語」 『世界言語編 (下1)』(言語学辞典・第3巻)	藪 司郎	三省堂	1992
「ビルマ語の辞書」 『世界の辞書』	奥平龍二 東京外国語大学語学研	研究社	1992

	究所編		
「ビルマ語」 『世界の言語ガイドブック 2—アジア・アフリカ地域—』	奥平龍二 東京外国語大学語学研究所編	三省堂	1998

学習機関一覧

◎専攻語学課程を設置している大学

大学名	郵便番号	住所	代表電話番号
東京外国語大学外国語学部	183-8534	東京都府中市朝日町 3-11-1	042-330-5111
大阪外国語大学外国語学部	562-8558	大阪府箕面市粟生間谷東 8-1-1	0727-30-5111

◎公開講座を設置している機関

大学名	郵便番号	住所	代表電話番号
桜美林大学生涯学習センター	194-0294	東京都町田市常磐町 3758	042-797-8092
大学書林国際語学アカデミー	100-0001	東京都千代田区 6 番町 9 AM ビル	03-3264-2131

◎授業科目として開設している機関

大学名	郵便番号	住所	代表電話番号
桜美林大学外国語教育センター	194-0294	東京都町田市常磐町 3758	042-797-5274
慶応義塾志木高等学校	353-0004	埼玉県志木市本町 4-14-1	048-471-1361

ロシア語 (Русский язык, 英 Russian)

中澤 英彦

概説

1. 系統

インド・ヨーロッパ語族スラヴ語派の東スラヴグループに属する。

2. 主な使用地域

ロシア連邦（1991 年まではソ連邦の中心的国家）

3. 話者人口

ソ連邦国勢調査（1989 年度）によれば、母語人口 1 億 6350 万人（そのうちロシア人は 1 億 4480 万人）、準母語人口 6900 万人、合計で 2 億 3250 万人の話者がおり、これはソ連邦人口の 81%にあたる。

4. 言語をめぐる歴史

スラヴ祖語（スラヴ諸語の共通の先祖）から分かれた古期ロシア語は、8～14 世紀の間に統一性を失い、現代のロシア語、ウクライナ語、ベラルーシ語と分かれていった。ロシア教会スラヴ語（スラヴ世界初の文語である古代教会スラヴ語がロシア化したもの）と民衆の話す言葉さらに西欧諸語の要素とをもとに、プーシキン（1799～1837）らの作家が磨き上げたのが現代ロシア語の基礎である。

5. 言語に関する状況

ソ連邦時代にはソ連邦を構成した 15 の共和国や東欧共産圏の学校では半ば義務的にロシア語の教育がなされていた。1991 年のソ連邦崩壊後は、ロシア語はそれら共和国の固有語とならんで公用語扱いや事実上の公用語とされるところ（ベラルーシ、カザフスタン、キルギス、モルドヴァ、タジキスタン）や外国語の一つとして教育されているところなど、扱いは様々である。ロシア連邦内では、連邦内に存在する 100 を越える諸民族がそれぞれの民族語を母語としながらもロシア語を民族間交流語として用いている。

6. 文字と音声

6. 1. 文字

русский алфавит (кириллица)

1	А а	a	18	Р р	r
2	Б б	b	19	С с	s
3	В в	v	20	Т т	t
4	Г г	g	21	У у	u
5	Д д	d	22	Ф ф	f
6	Е е	je	23	Х х	x(kh)
7	Ё ё	jo	24	Ц ц	c(ts)
8	Ж ж	ž(zh)	25	Ч ч	č(ch)
9	З з	z	26	Ш ш	š(sh)
10	И и	i	27	Щ щ	šč(shch)
11	Й й	j	28	Ъ ъ	
12	К к	k	29	Ы ы	y
13	Л л	l	30	Ь ь	'
14	М м	m	31	Э э	e
15	Н н	n	32	Ю ю	ju(iu)

16 О о о

33 Яя ja(ia)

17 П п p

ラテン文字への翻字法

6. 2. 音声

(1)母音 (アクセントのある音節中) i, ú, é, ó, á

ロシア語では 5 つの母音がある。なお、母音の長短によって意味の区別をすることはない。

(2)子音 p/p', b/b', m/m', f/f', v/v', t/t', d/d', s/s', z/z', n/n', l/l', š, ž, c, č, r/r', k/k', g/g', x, j

上の /j/ は、/j/ や母音の /i/ のように舌の中央部を硬口蓋に近づけて発音することを表す。このような音をロシア語では軟音、それ以外の音を硬音とって峻別する。名詞類の変化型の区別などに役立つからである。

(3)アクセントとイントネーション

アクセントはストレスアクセントであり、語義の区別に関与する。単語ごとに決まった位置にある。イントネーションは極めて重要な役割を果たす。E.A.ブルィズグノーヴァによれば、文のイントネーションは 7 つの基本型に分類される。

7. 言語の構造と特徴

7. 1. 句内の語順

修飾語—被修飾語がふつうの語順であり、被修飾語—修飾語はまれである。数量を表す語 - 名詞の語順がふつうで、名詞—个数詞の語順は概数（約～）を表す。

7. 2. 文の構造

文の基本的な構造は一応[主部]+[述部]といえる。ただし、そもそもこの区別のない文、つまり形態上、語と文との区別のない名辞文、無人称文（非人称文）、普遍人称文、不定人称文などのように主部が形態上現れない文型もある。

文の種類	主部	否定辞	述部	日本語訳
人称文	Я	(не)	японец. японка.	(男性の場合) 私は日本人です (ではありません)。 (女性の場合)
名辞文		Весна.		春だ。
無人称文	なし	(Не)	холодно.	寒い (寒くない)。
普遍人称文	なし		Тише едешь-дальше будешь.	急がば回れ (諺)
不定人称文	なし		Тебе звонят.	君に電話ですよ。

7. 3. 言語の特徴

名詞類 (名詞、数詞、形容詞) や代名詞が主格、生格、与格、対格、造格、前置格の 6 つの格変化を行い、動詞が完了体と不完了体の^た体 (一般言語学的にはアスペクト) に二分され、体が時制 (過去、現在、未来の時制) の機能に優先することが特徴である。

言語情報データ

系統	インド・ヨーロッパ語族スラヴ語派の東スラヴグループ
主な使用地域	ロシア (正式にはロシア連邦)
話者人口	母語話者 1 億 6350 万人、準母語人口 6900 万人 合計 2 億 3250 万人 (1989 年の国勢調査による)
公用語として用いる国	ロシア連邦、そのほかソ連圏にあった諸国、国連の公用語の一つ
教育言語として用いる国	ロシア連邦
使用文字	キリール文字
主な使用地域における他の言語	ウクライナ語、ウズベク語、カザフ語、アゼルバイジャン語、グルジア語など

辞書・学習書一覧

大学の教科書や会話集、露露辞典、英露辞典の類は膨大な数になるので省略する。

書名	著者	出版社	出版年	レベル
Ⅰ 読みものの形式の入門書				
『ロシア語のすすめ』	東郷正延	講談社		入門・初級
『はじめてのロシア語』	中澤英彦	講談社	1992	入門・初級
Ⅱ 一人で学べる入門書				
『ロシア語の入門』	小沢政雄	白水社		入門・中級
『エクスプレス ロシア語』	桑野隆	白水社	1986	入門・初級
『はじめてのロシア語』	佐藤純一	NHK 出版	1991	入門・中級
『気軽に学ぶロシア語』	沼野充義	NHK 出版		入門・中級
『初めて学ぶロシア語』	中澤英彦	語研	1994	入門・中級
『新ロシア語入門』	佐藤純一	NHK 出版		入門・中級
『モスクワのロシア語入門』	金田一真澄	三省堂	2000	入門・中級
Ⅲ 学習書				
『ロシア文法』	C.ヴェラン	白水社	1970	中級・上級
『基本ロシア語文法』	佐藤純一	昇龍堂	1989	入門・上級
『現代ロシア語文法』	城田俊	東洋書店	1993	入門・上級
『新ロシア語文典』	ブリキナ他	吾妻書房		中級・上級
『テーブル式ロシア語便覧』	和久利誓一	評論社		中級・上級
Ⅳ 露和辞典				
『コンサイス露和辞典』	井桁貞敏	三省堂	1963	中級・上級
『露和辞典』	東郷正延他	研究社	1988	中級・上級
『露和辞典』	S.ザルービン他	ナウカ	1988	中級・上級
『露和辞典』	和久利誓一他	岩波書店	1992	中級・上級
『パスポート 初級露和辞典』	米重文樹	白水社	1994	入門・初級
『ロシア語辞典』	佐藤純一他	博友社	1995	入門・初級
Ⅴ 和露辞典				
『コンサイス露和辞典』	井桁貞敏	三省堂	1966	中級・上級
『講談社和露辞典』	佐藤勇	講談社	1981	中級・上級
『和露辞典』	N.コンラッド	ナウカ	1970	中級・上級
『和露辞典』	藤沼 貴	研究社	2000	中級・上級

学習機関一覧

名称	郵便番号	住所	代表電話番号 メールアドレス
専攻語学課程を設置している大学 下に掲載した機関以外にも数多くの国公立の大学、専門学校で授業が行われている。			
東京外国語大学	183-8534	府中市朝日町 3-11-1	042-330-5111
大阪外国語大学	562-8558	箕面市栗生間谷東 8-1-1	0727-30-5055
専門学校			
東京ロシア語 学院	156-0052	世田谷区経堂 1-11-2	03-3425-4011 tokyorus@t3.r im.or.jp
日本ユーラシア 協会の支部	156-0052	(本部) 世田谷区経堂 1-11-2	03-3429-8231
大学書院国際 語学アカデミー	102-0085	千代田区六番町 9	03-3264-2131
マヤコフスキー 学院	164	中野区東中野 1-41-5	03-3362-8771
JIC 国際親善交 流センター	164-0004	新宿区四谷 4-1 小島ビル 3F	03-3355-7294
JIC 国際親善交 流センター	540-0037	中央区内平野町 2-2-4 コ スミックビル 3F	06-6944-2315
外国語スクール アイザック	150	渋谷区渋谷 1-23-18 ワ ールドイーストビル 7F	03-3486-5531

<プロジェクト委員>

寺崎 英樹 (語学研究所長)

ロバート・ラトクリフ (総括担当者)

降幡 正志 (総括担当者)

東京外国語大学百周年記念研究振興基金プロジェクト
『グローバル言語文化情報アーカイブ』報告書

発 行 日 2001年3月31日

編集・発行 東京外国語大学語学研究所

〒183-8534 東京都府中市朝日町3-11-1
